

柏崎市行政の災害対応と課題

長坂俊成*・小田淳一**・安倍 祥**

Disaster Response by Kashiwazaki City Municipal Government in Case of 2007 Niigata-chuetsu-oki Earthquake

Toshinari NAGASAKA, Junichi ODA, and Yoshi ABE

**Disaster Prevention System Research Center
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, Japan
nagasaka@bosai.go.jp*

***Research Institute for Social Safety, Japan
joda@e-riss.co.jp, abe@e-riss.co.jp*

Abstract

NIED, based on the joint research agreement with the city of Kashiwazaki, Niigata Prefecture, surveyed on the initial phase of Disaster Response by Kashiwazaki City Municipal Government in case of 2007 Niigata-chuetsu-oki earthquake. The study presented some issues related to disaster response by analyzing collected records created by the disaster relief headquarters, hearings on the administrative staff, and questionnaires for all Administrative staff. The Chuetsuoki Earthquake in 2007 has revealed the need to consider the following themes when the administrative entities establish disaster prevention measures in the future. Announcements and responses by the mass media is difficult in regions with a nuclear power plant. It is important to make the most of the capabilities of private business partners during disasters. It is essential to establish disaster prevention measures system after the merger of cities, towns, or villages. Remaining theme is the disaster prevention and measures when an earthquake hits an area where nuclear power facilities are located. It is essential for local governments to proactively promote corporate BCPs.

Key Words : Earthquake, Initial phase of Disaster Response, City Municipal Government

1. はじめに

平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(以下、「中越沖地震」)で大きな被害を受けた柏崎市は、平成16年(2004年)新潟県中越地震(以下、「中越地震」)でも被災しており、3年間という短い期間に2度の震災に見舞われることとなった。また、中越沖地震は、世界的にも例のない原子力発電所立地地域を襲った最初の大規模地震となった。

柏崎市では、地震発生から約1か月半後の8月末に避難所を解消しているが、防災科学技術研究所は、この間の震災への対応について柏崎市と共同で災害対策本部の資料を収集するとともに、市長はじめ危機管理監、防災・原子力課長、庁内各部課の管理職へのヒアリングを実施した。ここでは、それらの資料をもとに中越沖地震における同市の初動期における災害対応の実態の概要を報告

する。

2. 柏崎市の災害対応の概要

2.1 災害対策本部の初動

柏崎市は平成19年7月16日午前10時13分の地震発生40分後の10時53分に市災害対策本部を設置している。表1に、発災当日の時系列での主な出来事を示した。その後、平成19年8月末に最後の避難所が解消されるまでの主な災害対策本部及び関係機関による対応状況は、表2のとおりである。

2.1.1 参集・初動対応

市長及び危機管理監、防災・原子力課長へのヒアリングによれば、初期の災害対策本部の立ち上げは次のような状況であった。

*独立行政法人 防災科学技術研究所 防災システム研究センター

**株式会社 社会安全研究所

表1 地震当日(7月16日)の動き

Table 1 Local government's response on the day of the disaster.

月・日	時刻	事象	国・県・ライフライン	原子力	市本部	その他
7月16日	10時13分	地震発生	震度6強 M6.8	津波注意報		
	"		新潟県 災害対策本部設置(自動設置)			
	10時15分		政府緊急参集チーム召集, 官邸対策室設置			
	10時37分			東電柏崎刈羽原子力発電所から通報連絡(第1報) 3,4,7及び2号機が自動停止(全号機停止) 3号機所内変圧器で火災発生		
	10時40分			県に自衛隊派遣要請		
	"		新潟県知事の要請で消防庁長官が緊急消防援助隊の出動要請			
	"		ガス供給停止決定			
	10時50分				住民への防災無線広報(第1報)	
	10時53分				柏崎市災害対策本部設置	
	11時20分					●クリーンセンター煙突倒壊 (→後に、「ひび割れ」に訂正)
	11時45分		県, 第1回災害対策本部会議			●水道が停止 水の確保を広報 ●倒壊家屋15棟, ガス漏れ10棟 ●バス路線市内全線停止 ●北条南小学校避難者は北条中へ移動 ●社会福祉協議会 避難所開設(16人) ●ボランティアセンター開設
	12時00分		●東北電力 停電ほぼ全域			
	12時03分		●自衛隊, 佐藤池駐車場到着			
	12時10分			原子力発電所3号機所内変圧器火災の鎮火確認		
						●米山大橋は通行止め ●仮設トイレの手配(200個) ●川内ダムに亀裂 ●県水道協会に給水車50台要請. ●倒壊家屋から15人救出. 死者情報なし.
	13時10分		●自衛隊本部到着			●坂田川 松本せき 土砂崩れ せき止め ●西山町 断ガス, 断水, けが人若干名 ●県に5000人分×2食分を要請 ●県に水を要請 ●市内病院で2人死亡を確認(テレビ情報) ●市ホームページによる情報発信不能(サーバー・パンク) 米山町の一部に避難勧告を発令
	14時10分					
	14時15分		●東北電力 電源車70台配置			
	15時00分					炎対本部会議開催 死者3名, 避難所27箇所, 避難者数1073名
	17時00分					炎対本部会議開催
	18時00分					炎対本部会議開催
	18時58分			東北電力が原発で放射性物質の外部放出を確認		●全消防団が巡回・声掛け等を実施
	20時00分				炎対本部会議開催	
	20時00分	災害救助法適用				死者7人に
	20時20分					
	20時30分	政府現地連絡対策室設置				
	21時00分	関係閣僚会合				
	21時26分				市長, 防災無線で呼びかけ	
	21時44分				市長, 防災無線で呼びかけ(2回目)	
	21時50分	新潟県現地対策本部設置				
	22時00分				炎対本部会議開催	
	22時00分					避難所77箇所, 避難者数9859名
	22時40分				市長, 記者会見	
	23時00分		国, 第1回関係省庁連絡会議(8/3まで計10回)			

(●は, 災害対策本部の壁紙情報による. 時刻は情報入手時刻)

《市長ヒアリングより》
<ul style="list-style-type: none"> 地震から5分程度で家を出て市役所に向かった。役所へは普段であれば車で10分以内に着く。道路に段差があったりしたが、比較的道路は空いており、10分かそこらで登庁したと思う。(記録では10時28分に登庁) 登庁時、1階に入ると中はロッカーが倒れるなど、いろいろなものが散乱していた。階段も、非常扉が閉まりかけていたり、何かが落ちていたような気がする。1階にいた職員からも、「市長、危ないですよ」と言われた。 4階にあがると、災害対策本部の部屋では、何の指示もしないにもかかわらず参集した職員が机を並べ模造紙を壁に貼るなど、災害対策本部の開設準備を始めていた。3年前の中越大震災の経験があり、各職員が各自の役割を心得ていた。
《危機管理監、防災・原子力課長ヒアリングより》
<p>(本部の立ち上げ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会議室が災対本部室になる予定だったので、そこに参集した。既に市長がいて、まず、今、何をやる必要があるのかを相談した。市長が自衛隊の派遣を要請する必要があるということで10:40に県に連絡を取った。 記録上は10:53分に災害対策本部の設置となっているが、実際はもっと早くから実質的に機能していた。 市内の被害状況を調べるため、職員が集まり次第各地域に派遣した。原子力発電所の被害情報を確認すべきとの話もしていた。 <p>(3年前の経験が生きた)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初動期に何をやるかということについては、3年前の中越大震災の経験から、例えば避難所をどう設置するかなど、担当部長の中にある程度イメージはあった。地域防災計画を開いて、という状況ではなく各担当部長がそれぞれ動き出していた。 発生直後は、被害の全体像は分からないものの、大変な事態が起きたという認識はあった。そうした状況の中でも次は何をすべきかを考え淡々と対応した。市職員も全般にパニックや、動転しているような様子は無かった。本部会議室の準備は、中越大震災の経験もあったため、特に指示は出さなくても職員は電話、パソコン、壁紙などの準備を淡々と進めた。 前回の中越大震災は、仮設住宅は誰が造るのか、誰が費用を出すのかというゼロから議論が始まったが、今回はもう人が足りないということも分かっている状況でどうするかという具体的な対応方策の議論を課内でもやっていた。 少し悩んだのは、「この場所で本部はいいのか。庁舎は大丈夫か」と庁舎管理職員から言われたこと。市長とも相談し庁舎内に本部を設置する判断をしたと思われるが、明確には記憶がない。

2.1.2 第1回本部会議

第1回災害対策本部会議は当日午後3時に行われた。この会議での主な報告事項及び、その時点で明らかとなっていた被害情報等は次のとおりである。

表2 避難所解消までの状況
Table 2 Process until the evacuation shelter closed up.

7月16日	10時40分 10時53分 20時 20時30分 21時50分	自衛隊派遣要請 市災害対策本部設置 災害救助法の適用 政府現地連絡対策室設置 県現地対策本部設置
7月17日		避難所ピーク時 82か所、 避難人数 11,410人
7月18日		電気復旧
8月4日		水道完全復旧 激甚災害指定(局激)
8月10日		政府現地連絡対策室 撤収 県現地対策本部設置 撤収
8月27日		自衛隊 撤収 ガス全面供給
8月31日		避難所解消
9月1日		復興支援室、柏崎市中越沖 地震復興本部を設置 一時待機所設置

《第1回本部会議での主な報告事項》
<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の開設状況 ○クリーンセンター煙突被害とゴミ対応 ○上水道：通水の見込み不明。県水道協会、自衛隊、東村山への要請 ○ガス：断ガス全市、復旧の見込みなし ○夜・朝食事手配状況 ○ブルーシート配送 ○病院の状況 ○火災、救助の状況
《第1回本部会議における被害把握状況》
<ul style="list-style-type: none"> ○地震 10:13 ころ発生 上中越沖 新潟南西 60km 震度6強 マグニチュード6.6 ○災害対策本部 10:53 設置 ○原発全停止 3, 4, 7 スクラム, 2 自動, 1, 5, 6 定期検査中 放射能漏れなし 3号機火災 12:10 鎮火 ○避難勧告米山町 20戸 14:20 ○ライフライン東北電力 12:30 刈羽村含む 23,000戸停電 ○被害家屋 14:00 現在住宅全壊 301棟(枇杷島・中央地区が中心)

○人的被害

死亡 3人（中央病院 2人，郡病院 1人）

重傷 2人 軽症 40人

○道路の状況

国道 353, 252 通行可

国道 352 椎谷不可

鯨波公園線可能

安田跨線橋通行可

北条地区内の大広田地内信越線ガード下通行可

海運橋・平成大橋・大洲橋通止め

2.1.3 発災当日中の本部会議

第1回本部会議を含め、当日中に5回の本部会議が開催された。これらの会議で報告された主な項目は表3のとおりである。

当日夜21時26分、及び同44分には、市長から直接市民に向けて、防災行政無線での呼びかけが行われた。その内容は次のとおりである。

防災行政無線での市民への呼び掛け

(当日21時26分、及び同44分)

市民の皆様へ災害対策本部から市長の会田がお伝えいたします。

今日の地震に対して、いま柏崎市では災害対策本部を設置し、全力で対応を行っております。また、皆様の生活の確保のため、国、県をはじめ関係機関に災害支援を要請しており、各方面から支援の手が差しべられつつあります。

皆様には、大変ご心配、不安、ご不便な状態と思いますが、関係機関及び市職員一同、全力を挙げて対応にあたっております。

中越地震にも増して大規模な被害が発生している状況であります。是非市民の皆様には力を合わせて、互いに助け合い、いたわりあって、この難局を乗り越えていただきたいと思います。

今後も詳しい情報は、防災行政無線やFMピッカラでお伝えしてまいります。放送内容に十分注意してください。夜になりましたが、市民の皆様には落ち着いて行動して下さるよう、お願いいたします。

また、当日22時40分から議場にて市長の記者会見が行われた。

7月16日 22:40 市長記者会見

地震発生から12時間が経過した。中越地震、2度の水害、大雪、と自然災害が相次ぐ中で、改めて今回の大被害を受けた。過去の復旧がようやく終わったばかりだが、それより大きな被害があると思われる。全壊301棟、死亡7人、負傷551人の被害だが、実態が明らかになればさらに被害は増えることもありうる。ライフラインは、一部の電気を除いて復旧していない。市民の不便を改善するため、当面、水、食料、毛布、ブルーシートなどの必要物資を調達し、避難所に配布する。給水車の手配を始めており、仮設トイレの準備・確保に努めたい。併せて病院・施設の災害弱者へもきめ細かい対応を行いたい。

国・県・関係機関からの支援を求めたい。安倍総理や防災大臣・県知事から現状を見ていただいた。市民への力強い励ましになったと喜んでいる。さらに被害が明らかになれば市の力だけでは対応できないことから、国県に働きかけ支援を要請したい。市としても激甚災害の速やかな指定に向け努力したい。報道機関からも被害実態を的確に報道願いたい。

2.1.4 国、県の対応

発災当日の22時から開催された第5回本部会議には、内閣府なども参加し、国・県・市による本格的な体制が構築されつつあった。言い換えれば、阪神・淡路大震災以降、国は極めて迅速に対応するようになっており、しかも、中越地震の経験から新潟県も迅速に必要な災害対策要員を被災市町村に送り込んでいる。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

表3 震災当日中に開催された災害対策本部会議
Table 3 All conferences held at the disaster headquarters during the day of the earthquake occurred.

7月16日							
開始時刻	総合企画部	市民生活部	都市整備部	産業振興部	福祉保健部	財務部	ガス水道局
午後3時～		<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の開設状況 ●クリーンセンター煙突被害とゴミ対応について 		<ul style="list-style-type: none"> ●夜・朝食事手配状況 ●ブルーシート配送 (36人確保) 	<ul style="list-style-type: none"> ●病院の状況 ●保育園・幼稚園の休園 		<ul style="list-style-type: none"> ●上水道：通水の見込み不明。県水道協会、自衛隊、東村山への要請 ●ガス：断ガス全市、復旧見込みなし
午後5時～	<ul style="list-style-type: none"> ●プレスは小会議室で対応 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難者16-17時：2,073人 ●仮設トイレ160を順次配布 	<ul style="list-style-type: none"> ●国交大臣来柏したい ●R8信越線岩上陸橋段差まもなく復旧終了 ●市道4本通行止め 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通渋滞から18箇所の配食難航している ●水・毛布全避難所にトラックで配送中 ●県からも援助要請中 	<ul style="list-style-type: none"> ●日赤医療班で避難所回る (医師会と相談中) ●施設のライフライン、食事・水を望んでいる ●要援護者の確認難航 	<ul style="list-style-type: none"> ●外観調査、明日以降26班編成、各部5人ずつ応援頼む 	ガス水道局
午後6時～	<ul style="list-style-type: none"> ●各市の応援：何が必要かを整理して連絡すること. 		<ul style="list-style-type: none"> ●小松の敷き鉄板完了 ●海運橋開通 ●米山地区避難勧告指示 ●仮設住宅戸数、場所、県と協議中 (240戸程度か) ●椎谷、西中方面被害大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ●配食4班で配布. 1班しか帰っていない. 交通事情悪し. ●自衛隊の炊き出し：柏小で開始 			ガス水道局
午後8時～	<ul style="list-style-type: none"> ●県現地本部：第2予備室 ●国現地本部：議長応接室 ●プレス対応：5階議場 ●職員の負傷状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所 7,745人 76箇所 ●19時現在 ●仮設トイレ 155基を配置済み, 275基配置予定 ●17日のゴミの収集予定 ●電気灯、投光機を避難所に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難勧告 ●市道通行止め ●被災宅地の危険判断を要請 	<ul style="list-style-type: none"> ●物資4班、ごはん・水18箇所に出動 (道路状況悪く) 1班しか戻らず ●パン、おにぎりのトラックが到着し始め、準備出来次第配布する ●自衛隊による炊き出し：5箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内外から医療チーム11チームが出動中、病院6チーム ●2臨時救護所で軽微な負傷について対応 ●各病院のけが、負傷者の状況報告 ●各避難所において、人工透析患者を把握したい 	<ul style="list-style-type: none"> ●被害調査班17日PMから出発する：各部5名の応援体制を ●固定資産税1か月延期 	<ul style="list-style-type: none"> ●断ガス：35,000世帯 ●断水：40,260世帯 ●給水車：9箇所 ●下水道施設、作業手配中
午後10時～	<ul style="list-style-type: none"> ●市長、防災無線で呼びかけ：21:26, 21:44 ●本部会議後、市長が記者会見 ●必要な要望は人事課へ報告すること ●参議院選挙の期日前投票について ●旧日赤加工跡地の「赤レンガ棟」崩壊 ●無線は (夜も更けてきたので) 緊急時以外流さない 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所 77箇所 9,859人 ●避難所対応職員は、各2名を配置 ●プライバシー対策として仕切用ダンボールを県に要請 ●火葬場は炉に被害、稼働不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●北陸道：長岡JC - 糸魚川ICで通行止め ●長岡 - 西山、上越 - 柏崎の両区間は、緊急自動車のみ通行可 	<ul style="list-style-type: none"> ●18:30の避難者数を参考に物資配布開始 ●西山町事務所に着いた物資はパトカー随伴で輸送 ●物資の到着に時間がかかっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●刈羽郡病院：医療応援団34チームが到着 ●人工透析患者5名と連絡が取れない状況 		<ul style="list-style-type: none"> ●下水道被害甚大、半分のマンホール隆起、公共下水道延長の400kmの半分に被害 ●集落排水21処理場が無事だが、管路施設では甚大な被害が予想される ●給水車は現在10台が配置済み、到着次第順次追加していく ●県ガス協会本部を産業文化会館に設置した. ●下水道協会に職員依頼
	新潟県警	陸上自衛隊	海上保安庁	内閣府	その他		
	<ul style="list-style-type: none"> ●道路被害：国道8号線、国道116号線、国道352号線 ●130人の応援団を依頼 ●避難所を定期的に巡回 ●倒壊した307家屋に捜索活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動拠点をアクアパークに設置 ●東部方面管内全地域からの応援を要請している状況 ●物資の輸送活動に協力する準備あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●水の確保について自衛隊と連携し運搬活動につとめたい ●巡視船、ヘリコプターによる傷病患者の輸送対応も可能な状況にある 	<ul style="list-style-type: none"> ●政務官が20:30到着予定 ●政府の現地対策本部を設置する ●21時に閣僚会議、首相から「ライフラインの確保、県・国の密接な連携」について指示 	<ul style="list-style-type: none"> ●県副知事：県もバックアップする、県から40人を派遣午前4時に到着予定 ●県：21時50分、現地対策本部設置、国：23時30分、政府現地連絡対策室設置の予定 		

2.2 災害対策の推移

発災当日から 3 日間の 7 月 19 日までに、17 回に及ぶ本部会議が開催された。8 月末までには、合計 62 回の災害対策本部会議が開催された。

7 月 20 日からは、朝・夕の本部会議、午前 11 時のプレス発表に加え、午後 1 時から「庁議メンバー会議」（場所：市長応接室）、午前 10 時から「部長会議」（場所：市長応接室）が開催されることとなった。

表 4 は、7 月 18 日以後の本会議における市長の主な発言を示したものである。これにより、各時期の災害対応の課題や主要な取り組みを概観できる。

表 4 本部会議における市長の主な発言
Table 4 Mayor's statement at the meeting.

日時	市長の主な発言
7/18 AM7 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○地震から 3 日目で、被災者は疲れている。いろいろな要望、ニーズが出てきているがきめ細かい対応をお願いしたい。 ○ボランティアセンターとの連携を。 ○避難所でのプライバシー確保への対応を検討すること。
7/18 PM6 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○県市長会としても全面的に支援するとの話をいただいている。物的支援のほか人的支援も検討すること。 ○避難所においては防災行政無線が聞き取りづらい。避難所との情報交換について、FAX 等の送信について要否を検討すること。 ○被災者に対する日用品の配給について、対応を検討すること。
7/19 PM0 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○発生から 4 日目。暑さ対策も含め疲れていると思う。健康に留意されたい。 ○災害対応について当初十分でなかったが、改善されてきている。各位に感謝したい。 ○復旧に向けての準備、作業の見通しについて早めの対応をお願いしたい。
7/19 PM5 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○県内他市の応援の他に、東京都の危機管理監も応援の用意があると連絡あり。 ○週末土日を迎えるが、交通渋滞が予想される。不要不急の車の乗り入れの自粛をお願いしたい。交通規制も必要か。 ○市外の建物解体業者が入り込んでいるといううわさがある。市民への対応を考えて欲しい。
7/20 AM8 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○森・長岡市長から激励と見舞いに来ていただいた。
7/20 PM5 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○発生から 5 日目となった。被災者の方も疲れが見えるころだが、できるだけ配慮して欲しい。 ○最初の週末であることや雨の心配もあることなどから、それぞれのセクションで目配りをお願いしたい。
7/22 AM9 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○被災から 1 週間がたとうとしている。注意力、判断力が鈍る頃なので事故等に注意願いたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ○昨日も避難所をまわったが、高齢者、障害者への目配りを十分にお願したい。 ○長期戦になってくると避難者の体調維持の問題を始め、対応の内容が変わってくるのでそれらに配慮願いたい。
7/23 AM9 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○関係各位の支援に感謝する。今後の支援についても引き続きお願いしたい。避難所では、市や各機関の支援について感謝しているという声を聞いている。
7/23 PM5 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○関係各位の支援に感謝する。復旧・復興のキャッチフレーズを作った。「がんばろう！輝く柏崎」とした。
7/25 AM9 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○今日で 10 日目を迎える。当初の混乱から多少安定期になりつつある。 ○ライフラインは引き続き混乱しているが、これからは復旧に向けての心配事や手だてについて市民から相談されることが多くなると思う。 ○大勢の方々からご支援をいただき感謝している。このことを被災者や市民にも伝えたい。
7/26 AM9 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○今日で 10 日が過ぎた。疲れがピークだと思うが、雨の影響で被害が拡大する恐れがある。安全の確保と対応をお願いしたい。
7/27 AM9 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○明日は選挙準備、明後日は投開票があり、職員が対応することから、手の足りない部分を関係各位にお願いすることになる。協力をよろしく願いたい。
7/29 PM5 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時広報「新潟県中越沖地震」について：これまで市民の皆さまからの問い合わせ、ご心配な点等があるので取り急ぎごみ、被災者生活関連、仮設住宅、り災証明、市税、保険料等の対応について掲載した。明日各戸配布したい。 ○被災者相談所を 8 月 1 日から開設する。これまで被災者の皆さまの個々のいろいろな悩み、相談事をまとめて受ける部署がなかったので、市役所の関係部署が一つの場所で相談を受けて対応しようとするもの。場所は市役所分館の 2 階会議室。被災者の生活再建支援、住宅応急修理、応急仮設住宅、被災住宅の解体、廃棄物処理等などについて、例えば融資等を含めて総合的に相談に応じる。前回の中越大地震では、市民活動支援課で窓口を設置していたが、その時はなかなかうまく対応ができなかった経験から、今回はそれぞれ関係課職員が張り付いて対応するのでよろしく願いたい。
7/30 AM9 時～	<ul style="list-style-type: none"> ○今日で地震発生から 2 週間となる。国、県、自衛隊ほか、関係機関の支援に感謝申し上げる。被災者はもちろんのこと支援者にも疲れが出ており、一層の体調維持管理が必要である。 ○被災者にはこれから家屋の解体、ごみ処理、り災証明手続き、仮設住宅への入居など、さまざまな課題が現れてくる。市では各種制度の情報を載せた冊子を戸別配布するほか、8 月 1 日から被災者相談窓口を開設する。当面、市本庁で実施する

	が西山町事務所でも開設したい。
7/31 AM9 時～	○発生から 2 週間が過ぎ、懸命な援助により避難者は落ち着いている。しかし、避難所生活も長くなり、仮設住宅入居までまだ時間があることから、避難者の健康管理、各種ケアのために十分な目配りと各機関同士の連携を密にすることを願いたい。
7/31 PM5 時～	○ガス水道局の報告の通り、水道の応急復旧作業は一応の終了とする。
8/1 AM9 時～	○発生から半月過ぎ、水道の復旧、避難所の閉鎖など、復興へ向かっている。本日は柳沢厚生労働大臣、明日は中川自民党政調会長が現地視察に来られるので、復旧、復興へ向けた要望を申し上げたい。また、近いうちに国に対して直接要望に行く予定であり、準備を進めている。
8/2 AM9 時～	○これから暑くなるので対策が必要であるが、高齢者などはより快適な場所へ移ってもらおうよう検討したい。 ○8月6日、7日と上京し、国の各機関へ刈羽村長、出雲崎町長とともに要望書を提出したい。
8/4 AM9 時～	○台風 5 号の被害は思った程ではなくほっとしている。 ○避難所の暑さ対策、避難民の健康対策に留意したい。
8/8 AM9 時～	○震災直後から、国県からは迅速で幅広い支援をいただき感謝にたえない。おかげで応急対応も一段落した。 ○国からは内閣府を始め、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、環境省、気象庁などから多くの支援をいただいた。8月10日の閉鎖について了解したい。 ○一昨日、昨日と総理大臣を始め、各大臣に会ってお願いをしたところ、力強い支援の約束をいただいた。現地本部は閉じることになるが今後もご支援をお願いしたい。 ○本日は天皇、皇后両陛下がおいでになる。直接現地で市民を激励いただくことは大変ありがたいことである。しっかりお迎えしたい。 ○昨日、激甚災害の指定をいただいた。きわめて短期間で指定をいただいたことに感謝申し上げるとともに、復興へのはずみとしたい。今回の措置が局激ということであらためて整理をして、なんらかの対応が必要と考えるが、まずもって関係機関の皆様へ御礼を申し上げたい。
8/9 AM9 時～	○昨日、天皇、皇后、両陛下がおいでになり、一人ひとりにねぎらいの言葉をかけていただいた。まさに両陛下の国民に対する温かい思いやりを感じたところである。支援している方々にも慰労と激励の言葉をいただいた。この励ましを大きな糧として復興に向けてがんばりたい。 ○明日と来週の月曜日、県に対して要望すべく各部署をまわる予定である。

8/10 AM9 時～	○今日をもって政府の現地災害対策連絡室、県の現地対策本部を解散することとなった。災害直後から即座に対応して頂いて感謝している。 ○過去に例のない被害の中で、各位の力で落ち着きを取り戻してきた。市民を代表して感謝したい。しかし、まだ避難所もあり、ライフラインも途絶えているところがあり、復旧復興に向けて今後も一層の支援をお願いしたい。
8/12 AM9 時～	○自衛隊には、炊き出しなど本当にお世話になった。心から感謝し、お礼を申し上げたい。 ○これからの市民相談には、個別の悩み事などが出てくる。被災者の立場や気持ちを汲んで対応して欲しい。 ○市職員も疲れが溜まってきている。健康管理には十分配慮し、交代で休養を取らせるようにして欲しい。
8/15 AM9 時～	○明日で 1 か月が経過する。亡くなられた方々のご冥福と、市民挙げての復興を誓い 10:13 に黙祷を呼びかける。 ○仮設住宅の入居が始まったが、残る入居を進めていく。避難生活者の次のステップを図り、同時に避難所の解消を進めていく。 ○また、国・県にも要請しながら、自立再建困難者の支援、被災宅地への支援、地場産業への支援、生活再建支援法の拡充を考えていく。また、復興基金のメニューのまとめや、復興計画の取り組み、原発の安全確保に向けての発信も行っていきたい。
8/16 AM10 時～	○発生から一か月が経った。この間本部員並びに市職員については自身も被災している中、大変な労力を注いでもらったことに感謝する。また、国県等関係機関においては現地に本部を設置して頂き対応して頂いたことに感謝している。自衛隊も要請直後から幅広い支援を頂き市民の支えになった。特に、炊き出しや入浴支援については市民の心に安らぎを与えて頂いた。 ○当初の混乱の時期から復旧復興の時期にきているが、未だガスの復旧が残っているところである。全国から支援を頂き懸命な作業を続けているが、今月いっぱいかかることもあるのが現状である。 ○13日から仮設住宅の入居が始まった。県の手配で速やかに開設できた。これにより避難所の解消についても早く行いたいと考えている。 ○明日から「り災証明」を発行することになるが外観目視から、今回不十分な調査となったものは内観目視の調査へ移行していく。時間がかかるが誤りのないよう対応していきたい。 ○取り組むべき課題はいくつかあるが、新制度の創設など国県要望等を検討しながら解決を図っていききたい。 (10:13 本部員全員黙祷)

8/22 AM9時～	<ul style="list-style-type: none"> ○地震発生から1か月と1週間経過した。この間、被災者ならびに復旧にあたられた皆さんもずいぶんお疲れのことと思うが体調にはご留意いただきたい。 ○り災証明を発行する中で再調査の要望が多くあり、再調査をしっかりとすみやかにやりたい。避難者についてはヒアリングを早急を実施し、今後の生活の方向性を確保することで、できるだけ早く避難所を閉鎖したいと考えている。 ○自衛隊の皆さんには入浴の支援いただいたことに感謝申し上げます。 ○県警の皆さんには今後の仮設住宅の警備をよろしく願いたい。
8/27 AM9時～	<ul style="list-style-type: none"> ○長い間不便をかけた。報告のように各位から応援を頂き全市域での供給が可能となった。応急復旧については一応終了する。 ○自衛隊が本日撤収する。震災から直ちに現場に駆けつけて頂き、人命救助から民生支援まで従事して頂いた。市民もきめ細やかな対応をして頂き、精神的な支えとなった。 ○避難所も今月末で仮設住宅の残りが完成し解消できる。
8/29 AM9時～	<ul style="list-style-type: none"> ○震災から一か月半となる。本部員におかれては自らも被災しながら頑張って頂いた。また、市民からすれば至らなかった点もあると思うが、市職員も頑張ってもらった。 ○今後は、この地震の教訓を次につなげて、整理していく必要がある。 ○9月1日に復興本部、復興支援室を立ち上げるが対策本部も引き続き設置するので引き続き市民の対応をしていく。課題はあるが市民の生活再建の支援をしていくので頑張ってもらいたい。

2.3 原子力発電所被害への対応

東京電力柏崎刈羽原子力発電所では、中越沖地震により耐震設計の基準を超えた地震動が発生したため、運転中の原子炉4基(うち1基は起動中)が自動停止した。地震による原子炉の自動停止は世界で初めてである。幸い、「止める」「冷やす」「閉じ込める」という原子力安全の基本機能は確保できたものの、次のような事態が発生し、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会による詳細な検討が進められている。

- 耐震設計の基準を超えた地震動
 - 微量の放射性物質の放出
 - 変圧器火災(原子炉建屋周りの地盤の沈降、消火設備破損による)
 - 発電所の緊急対策室のドアが開かなくなる等の被害
- ここでは特に発災後の情報伝達・市民への広報など、柏崎市の対応状況を示す。

2.3.1 情報伝達・広報の状況

表5に、発災から数日間の原子力発電所に関する柏崎市関連の情報を示した(総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するワーキンググループ, 2007)。

る調査・対策委員会中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するワーキンググループ, 2007)。

表5 中越沖地震発生後の原子力発電所関連対応【柏崎市】

Table 5 Nuclear power plant's handling after The Niigataken Chuetsu-oki Earthquake in 2007.

時間	対応事項
(7月16日)	
10時13分	地震発生
10時37分	東電柏崎刈羽原発からの第1報が、登庁途中の防災・原子力課職員の携帯電話に入る (内容) ・3, 4, 7及び2号機が自動停止(全号機停止) ・3号機変圧器で火災発生 ・外部への放射能漏れはない
10時50分	防災行政無線で市民に広報(第1報) (内容) ・原子力発電所は、全号機停止している
10時53分	市災害対策本部設置
11時頃	市長に知事から電話。地震、原発対応等について情報交換。
11時25分	防災行政無線で市民に広報 (内容) ・3号機の変圧器から出火しているが、放射能の心配はない
11時58分	東電からFAXによる報告(FAXによる第1報) (内容) ・運転中の3, 4, 7号機及び起動中の2号機が自動停止 ・11:30 現在軽傷者4名 ・3号機所内変圧器から火災発生、消防により消火活動中 ・外部への放射能漏れはない
12時15分	県報道発表(12時現在)*FAXにより確認 (内容) ・3号機の火災の鎮圧を確認 ・県が実施している周辺環境モニタリングでは、12時現在異常は確認されていない ・発電所周辺住民の避難等の必要はないと判断
12時25分	防災行政無線で市民に広報 (内容) ・3号機の火災は鎮火 (東電からのファックスは、12時27分に着信)
13時10分	県報道発表(13時現在)*FAXにより確認 (内容) ・3号機の変圧器で火災が発生したが、12

時間	対応事項
	時 10分に鎮火を確認 ・県が実施している周辺環境モニタリングでは、13時現在異常は確認されていない
18時58分	東電柏崎刈羽原発から通報 (内容) ・6号機、非管理区域の漏洩水に放射能があることを確認 (18時20分確認)
20時31分	東電柏崎刈羽原発から通報 (内容) ・6号機、放射能を含んだ漏洩水が海に放出されていたことを確認 (20時10分確認)
(17日)	
13時56分	東電柏崎刈羽原発から通報 (内容) ・7号機、週1回の定期測定で主排気筒からヨウ素他を検出
(18日)	
11時00分～	消防法に基づく使用停止命令 (内容) ・消防法第12条の3の規定に基づく製造所等の使用停止命令
17時00分	県報道発表 *FAXにより確認 (内容) ・6号機から放射能物質の漏洩があったが、海水から人工放射能性物質は検出されなかった
18時00分	県報道発表 *FAXにより確認 (内容) ・発電所周辺の空気から放射性ヨウ素は検出されなかった
(19日)	
13時25分	防災行政無線で市民に広報 (内容) ・原子力発電所は、全号機停止している ・消防法に基づいた危険物施設の使用停止を命令した ・安全協定に基づいて、安全が確保されるまで原子力発電所の再開はしないように要請した ・6号機、7号機から放射性物質が漏洩したが、海水、空気からは放射性物質は検出されなかった (19時にも繰り返し広報)

(出典：総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会 中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するワーキンググループ (第3回) 配布資料)

原子炉の自動停止については、10時37分に発電所より連絡が入り、10時50分の防災行政無線による広報で原子力発電所は全号機停止していることを伝えている。その後、12時25分には、発生していた火災が鎮火したことも防災行政無線で放送された。

しかし、18時58分に通報のあった、東京電力が原発で放射性物質の外部放出を確認したという情報については、広報されていない。

2.3.2 市災害対策本部の判断

ヒアリングによれば、この間の柏崎市の対応の判断については、次のような状況であった。

危機管理監、防災・原子力課長ヒアリングより

(原子力発電所の情報)

- ・柏崎市では、地震があった場合、まず最初に原発がどうなったかを防災無線で住民に知らせるという意識が我々の中にある。東電から原発は止まったという連絡を受けていたので、我々としては一応、安心していた。火事と核分裂とは別次元の問題であり、東電からの連絡の内容や、被害が拡大しているということではなかったこともあってか、大きな心配はないと一応判断した。
- ・10時37分に職員に連絡が入っており、市では、10時50分の最初の広報で、原発は停止したと広報した。大丈夫だな、と思っていたのに、テレビ報道で火事が起きているらしいということが、本部で話題になった。
- ・県のモニタリング情報は、12時現在で情報が入ってきた。

(マスコミ対応)

- ・当日の昼頃にはマスコミが多数来ており、夕方には原発関係でマスコミの取材が殺到した。当時、地震対策と原発関係の情報がどんどん入ってきており、情報の選別が難しい状況だった。その中で、海水に6号機の水が出たという情報があったが、ごく微量であるということであった。これを本部会議に諮らない、市長にも良く説明していないということでマスコミに追及された。ファックスでどんどん来る情報を見ていたが、漏洩は量的には非常に微量であった。
- ・大変なことであれば、発電所から我々への情報の入り方も違ったと考えられる。量的には問題のないものだったので、淡々と情報が入ってきていた。
- ・「安全」な状況ということについて、もっと市民に広報した方がよかったということが、いわれている。しかし、当時は、市役所の災害対策本部としては、まだ行方不明者がいて、搜索の重機を手配したり、夜中にライトを照らして搜索をしていた。そうした状況で、地震の災害対策の方に軸足を置いていた。原子力発電所が止まって安全だという情報があった段階で、大きな不安はないと思ったが、原発の情報に関しては、大きな騒ぎになってしまった。

この中では、状況認識・判断の問題に加え、原子力発電所で何らかの問題が生じた場合にはマスコミへの適切な対応が大きな課題であることが改めて示された。また、

今回の火災に関連して、市消防本部へも大量のマスコミからの問い合わせ等があったようであり、広報対応の一元化なども課題となった。

2.3.3 使用停止措置と安全対策への要望

地震による発電所の危険物施設被害（配管等）の恐れがあることから、柏崎市は7月18日に東京電力に対して消防法に基づいて発電所内の全基の危険物施設について緊急使用停止命令を出した。

その他に実施した要請及び安全協定に基づく立入調査等は次のとおりである。（表6、表7）

表6 柏崎市からの要請等
Table 6 Request and order of Kashiwazaki City.

日付	要請者	内容
7月17日	県市村	東京電力に対して安全協定に基づき安全確保について措置要求
7月18日	市長	消防法に基づく危険物施設の緊急使用停止命令
7月23日	全原協	経済産業省、原子力安全委員会、電気事業連合会等に対して耐震安全性の確保に関する申し入れ

表7 柏崎刈羽原発に対する安全協定に基づく立入調査等

Table 7 On-site inspections of Kashiwazaki-kariwa nuclear power station under the safety agreement.

日付	調査者等	内容
7月17日	新潟県	地震後の発電所の状況、変圧器火災の状況確認
7月21日	評価会議委員同行	放射線測定データの確認・放射能漏れの現場の立入調査
7月28日	技術委員同行	原子炉圧力容器水漏れ報道の現場立入調査
8月1日 ～2日	技術委員同行	発電設備の現状について立入調査

3. 柏崎市の実施した災害広報

柏崎市が実施した市民への災害広報には、防災行政無線とFMピッカラ、市のホームページ、広報紙などがそれぞれ重要な役割を果たした。

特にFMピッカラは、発災当初から防災行政無線の内容を繰り返し伝え、リスナーからの問い合わせについて市災害対策本部で確認して回答するなど、身近な放送局としての機能を遺憾なく発揮した。このFMピッカラの果たした役割については、第5編に詳しい。

ここでは、主にFMピッカラ以外の媒体による災害広報の取り組み状況を概観する。

3.1 広報媒体別の概要

3.1.1 防災行政無線による広報（表14）

柏崎市では全ての世帯に防災行政無線の戸別受信機が配布されており、中越沖地震では、津波注意報の自動放送を皮切りに当日の夜11時までには注意喚起、避難所開設、物資配布などの内容を中心に、50回に及ぶ放送がなされた。

発災から一週間における放送内容の推移は図1のとおりである。

3.1.2 ホームページによる広報（表14）

災害情報のホームページへの掲載は、地震発生の当日から実施されている（開始時刻不明）。柏崎市のホームページ用システムは、3年前の中越地震を契機に6万件/日から10万件/日のアクセスまで対応できるよう増強されていたが、7月16日には120万件ものアクセスがありアクセス不能状態になった。そのため、急遽専用のサイトを開設し、市ホームページや携帯サイトに訪れた利用者は当該サイトに誘導されるような設定がなされた。

また、kisnet（柏崎インターネットサービス：柏崎市を拠点とするプロバイダ）においても同内容の情報を掲載し、市民に利用を呼びかけた。

なお、掲載する情報は、基本的に災害対策本部発表の情報のみとし、各課から企画政策課に直接持ち込まれた情報は、掲載しないこととされた。

ホームページでの情報の分類（メニュー）は、中越大震災の経験をもとに設定された。各情報の見出しは15～20文字以内、中見出しは40文字までと定められた。携帯で見ると多いことから、情報をどれだけ短い文章でわかりやすくするかという点に苦労したとのことである。

3.1.3 広報紙等の紙媒体による広報

中越沖地震に際して、市民向けに発行された広報紙は、表8のとおりである。

表8 柏崎市で配付された広報紙
Table 8 Public relations magazines distributed to the victims in Kashiwazaki City.

発行日	資料名
7月30日	新潟県発行 生活再建へのお知らせ（住宅再建に向けて）
7月30日	新潟県中越沖地震 臨時広報
8月11日	新潟県中越沖地震 臨時広報2
8月20日	広報かしわざき号外 中越沖地震被災者生活再建支援制度等のお知らせ

市による実質的な広報紙第一号である「臨時広報 新潟県中越沖地震（7月30日）」の内容は次のとおりである。3年前の中越地震の教訓から、市では、被災者支援策等がある程度出そろった段階で被災者相談所を開設することとしており、この広報もそれに併せて発行された。

なお、広報紙の配布については、日常のルートである町内会を通じた配布が行われた。すべての被災者に配布する量の印刷をする時間がない場合には、町内会を通じた回覧も実施されている。

《臨時広報 新潟県中越沖地震（7月30日）の内容》

1	地震の発生状況
2	被害の状況等
3	避難の状況（7月27日現在）
4	復興に向けた支援策・対応策

- ごみの処理・処分
- 生活（住宅）再建関連
- 応急仮設住宅
- 被災者相談所開設
- 5 避難所生活で注意していただきたい事項
- 復旧・復興のスローガン 「がんばろう！輝く柏崎」

また、「広報かしわざき号外 中越沖地震被災者生活再建支援制度等のお知らせ」(平成19年8月20日発行)は、支援制度を網羅的に解説したものとなっている。

《生活再建支援制度等のお知らせの目次》

- 2 P-担当部署・相談窓口について
- 3 P-家屋の被害状況調査と「り災証明書」について
- 5 P-住宅再建支援制度の適用について
- 7 P-被災者生活再建支援制度について
- 9 P-住宅応急修理制度について
- 10P-被災住宅の解体廃棄物の処分等について
- 11P-合併処理浄化槽の修理について
- 12P-市税等の納期限延長減免について
- 19P-個人向け融資制度について
- 21P-中小企業向け融資制度について
- 22P-農林業施設等の災害復旧支援策及び農業関連等融資制度について
- 23P-経済面の支援、負担等の軽減について
- 24P-災害に便乗した悪質商法にご注意ください！！

3.2 市の広報に対する評価

3.2.1 市民の情報ニーズ

発災直後の情報ニーズについては、民間調査会社が実施したアンケート調査により、図2のような結果が得られている（(株)サーベイリサーチセンター，2007）。

表9は、市民アンケートから情報ニーズに関する記述を抽出したものである。災害後、時間が経過するなかで、情報ニーズは多様化、個別化していったことがわかる。

3.2.2 市民の防災行政無線に対する評価

防災行政無線は極めて有効な媒体であったものの、災害対応が長期化するなかで、特に後期は放送する内容に市民全員が対象でないものもあり、市民が防災行政無線を聞き流すようになってしまった面があったようである。

市民へのアンケートでは、次のような指摘があった。

《防災行政無線に関する課題》

- ・防災無線・ファックス・FM ピッカラ・テレビ等、情報が多すぎて処置に困った。
- ・あまりにも多くの情報が伝達され現場がとまどった（どれが本当か）。
- ・FM ピッカラの放送と広報の内容が異なるものがあって困った。

発災後数日間の緊急情報はともかくとして、その後の防災行政無線の利用については、発信する情報の精査や、放送エリアの細分化、あるいはFMピッカラとの連携などを検討することが必要だったと考えられる。

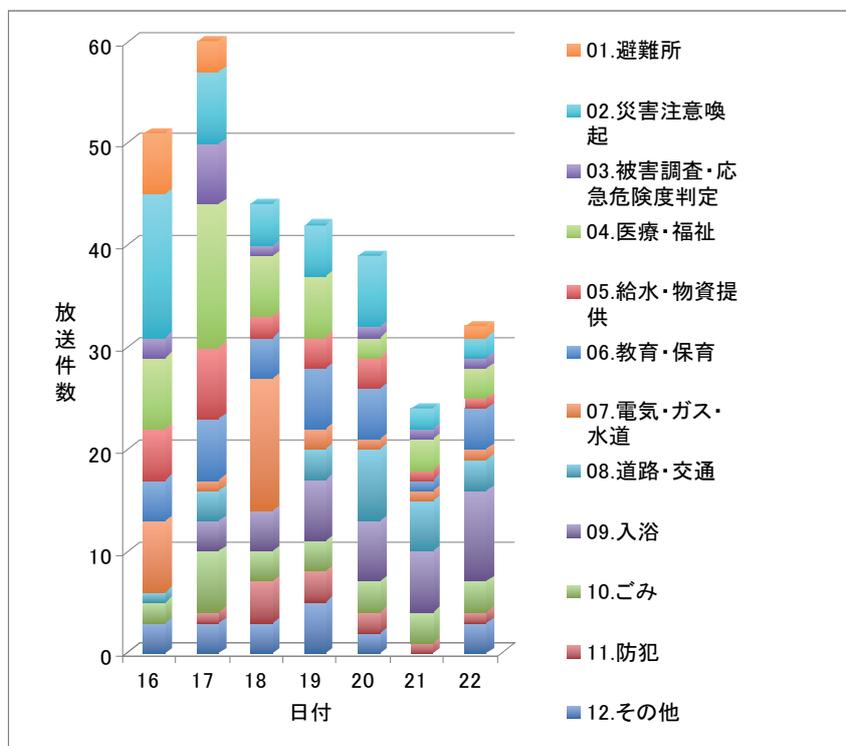


図1 防災行政無線による放送内容の推移
Fig.1 Change of the information provided by Kashiwazaki City by radio after the earthquake.

表9 多様な市民の情報ニーズ（市民アンケートより）
Table 9 Various information needs of the public.
 (based on the questionnaire survey to the citizens)

分類	内容
災害発生・被害	地震の震源地を知るまでに時間がかかった。
	津波情報・津波情報の解除がわからなかった。 地域の被災情報をより細かく知りたかった。
ライフライン	電気・ガス・水道復旧工事の進捗状況がわからなかった。
	ガスや水道の供給見通しがわからなかった。
原子力	柏崎刈羽原発に事故があったのか、ないのか情報がわからなかった。
	原発の情報（放射能の情報）がなくて不安だった。ヨウ素剤の配布について知りたかった。
交通	関東地方からの交通網がわからなくて困った。
炊き出し・物資提供	どこに行けば何が手に入るのか、時間・場所等がわからなかった。
	避難所に救援物資が届いていることが伝わってこなかった。口コミで知った（家にいると支援の情報がわからないので不公平）。
	物資の有無、在庫品目の情報提供がなかった。
	自衛隊の食事提供がいつから始まったのかわからなかった。
	飲料水と食事（炊き出し）の情報 柏崎の出身でないのに、小学校がどこにあるかわからず、物資を取りに行くことが出来なかった。
保健・衛生	仮設トイレの設置場所や設置予定について知りたかった。
ごみ	粗大ゴミや震災ゴミなどを含めたゴミの収集について、日程や内容を知りたかった。
入浴	自衛隊の風呂の入浴時間について詳しく知りたかった。
学校等	学校が休校になるので、子どもがどうしたらよいのかわからなかった。
要援護者対応	災害時要援護者への対応について、詳しく知りたかった。
	災害時要援護者のリスト作成のための情報が欲しかった（町内会）。
ボランティア	ボランティアの依頼方法が分からなかった。有料なのか無料なのか、食事の用意をしたほうがよいか等。
	ボランティア情報に関して、困った人がいればいくらでも手を貸せたのに、行政側でニーズの吸い上げができていなかった。
被害調査	応急危険度判定について（内容が）正しく伝わっていなかった。

分類	内容
	家屋調査の目的とメリットが正しく伝わってなかった。
	家屋調査の外観調査と内部立ち入り調査の違いについて知りたかった。
	家屋調査の調査員の調査結果は本当かどうか知りたかった。
	被害調査にいつ来るか伝えて欲しかった。
住宅	被災住宅の取扱い方がわからなかった。
	空き家の倒壊家屋の処理について知りたかった。
	仮設住宅に入れるか否かについて知りたかった。
復旧・修復	人家裏山崩壊の復旧について、どこへどう相談したらよいか、いつやってもらえるか知りたかった。
	私道の修復について知りたかった。
	お墓の復旧について知りたかった。
公的支援、義援金	支援金・義援金の支給についての情報が、最初の頃にはなく、改修すべきかどうか悩んだ。
	義援金がどのようなところにつかわれているのか細かく知りたかった。
	復興基金の内容がわからなかった。家の応急処理との絡みでとても悩んだ。
	市の各種の支援方法について詳しく知りたかった。
	被災者支援について、自分にあてはまるものがどこまでか把握しきれなかった。
その他	り災証明の手続きについて詳しく知りたかった。
	稲収穫期の対応について知りたかった。
	アパートに住んでいるものは情報が全くない。（市からの防災無線はアパートの自室内には設置されておらず、外から聞こえる無線は音が割れており半分程度しか内容が理解できなかった）

3.2.3 町内会長を通じた市民への情報提供

市からの広報は防災行政無線による市民全般向けがほとんどであったことから、町内会長からは、町内会への情報提供や町内会を通じた市民への情報提供への取り組みに欠けていたのではないかと、この指摘があった。市へのヒアリングにおいても、「『対策本部→避難所→地域への情報提供』のネットワークが機能しなかった。本来は、課の活動としては、町内会・コミュニティとの連絡・調整が最も重要だったが十分にできなかった。」という意見が聞かれた。

《町内会アンケートにおける広報・情報伝達への意見》

- ・個人情報保護の観点から、町内の個々の家庭状況が把握できなかった。

- ・個人情報保護の観点から、仮設入居者の入居場所の把握ができなかった。
- ・市の対策本部への電話が繋がらなかった。
- ・地区住民から町内にくる問い合わせについて、災害本部との通信が皆無なのは困った。
- ・町内会長向けに強い指示、アドバイスを具体的に発信してほしかった。
- ・物資の到着より先に市の広報がなされたため、トラブルが発生した。
- ・地震直後、防災無線の放送がヘリコプターの轟音で聞こえなかった。
- ・防災無線のマイク音がぼやけて判断できなかった。
- ・防災無線の放送は「聞こえても記憶に残らない」という意見があった。
- ・防災無線の放送では、大変多くのことを放送され、無関係の地区のことも放送され、高齢者には理解し

づらかったようだ。

- ・放送による情報が多すぎる。内容、音量、話し方に工夫して欲しい。
- ・広報、文書がたくさん来たが、内容が難しかった。
- ・広報の文章は、一度で理解、納得できないことがあった。
- ・アパート在住者への連絡が充分にとれなかった。
- ・緊急連絡網（電話）は相手がいないと伝わらないし、時間がかかる。回覧はさらに時間がかかる。
- ・市で調査した結果は、町内会にも報告願いたい。
- ・道路や林地の災害復旧について、事務所に連絡しても上部に通じていない部分があり、本庁と事務所の連携が不十分であった。
- ・住民が4か所の避難所に分散したため、町内会としての情報伝達等協力ができなかった。
- ・各避難所の責任者が日替わりで、民生の声が上に

地震発生後の7月28日から8月3日までの期間、以下の方々を対象として、地震後の状況や柏崎刈羽原子力発電所のトラブル等に関する情報の入手について、訪問面接法（一部、留置法を併用）により調査を実施。

地区名	世帯数	人口	人口構成比	回収数	備考
西本町	705	1,866	19.17%	96	1丁目/2丁目/3丁目
東本町	506	1,278	13.13%	66	1丁目/2丁目/3丁目
中央町	180	462	4.75%	24	
栄町	328	843	8.66%	43	
新花町	206	485	4.98%	25	
大和町	182	464	4.77%	24	
中浜	411	1,137	11.68%	58	1丁目/2丁目
番神	268	797	8.19%	41	1丁目/2丁目
四谷	490	1,234	12.67%	63	1丁目/2丁目/3丁目
比角	462	1,170	12.02%	60	1丁目/2丁目
計	3,738	9,736	100.00%	500	

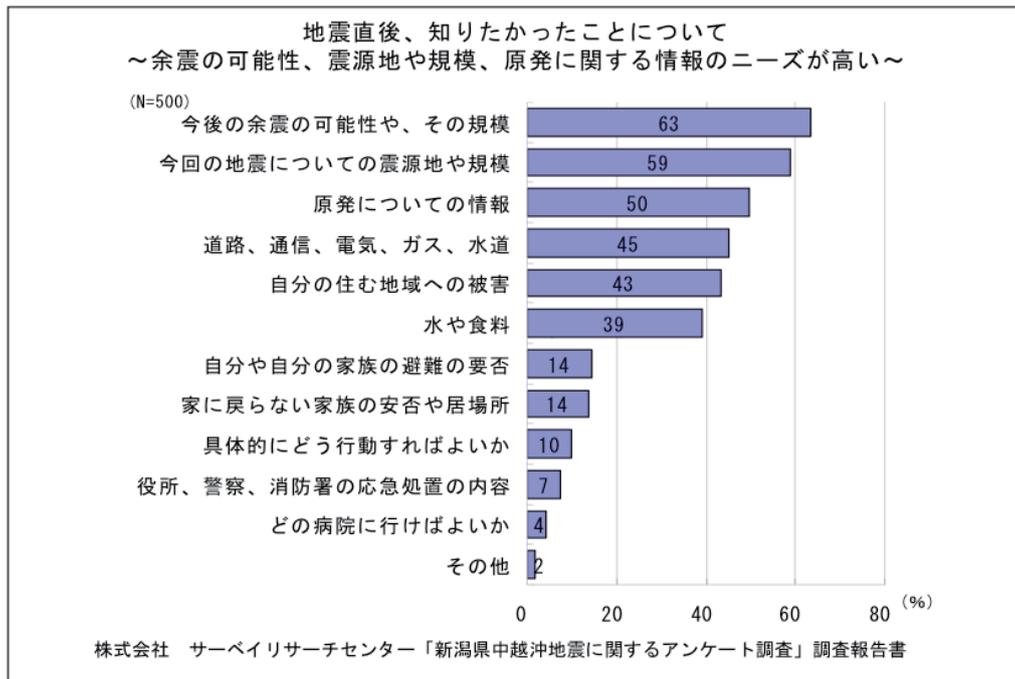


図2 地震後知りたかった情報

Fig.2 Victims' information needs just after the earthquake.

届く体制が弱かった。

- ・情報は、市内全体のものだけでなく、地区ごとに
応じたものが欲しい。
- ・地区内での災害対応を地区世帯に知らせる方法が
あれば良い。

復旧・生活再建などの情報については必ずしも放送に
適していないものも多く、高齢者等へのきめ細かな情報
提供などを初めとして放送等での広報には限界があった。
災害時における町内会やコミュニティとの情報伝達機能
の確立を図ることの重要性が改めて認識された。

4. 災害対策本部体制と本部運営

ここでは、ヒアリング等で指摘された災害対策本部の
体制や運営において課題とされた主なポイントを紹介す
る。

4.1 災害対策本部の運営

災害対策本部の運営については、指揮命令系統に混乱
があった、との声が聞かれた。指揮命令系統に混乱は、
情報共有の不足により各自の認識に食い違いが生じるこ
とが大きな要因であることが多い。「災害対策本部が毎日
開かれた都度、部の全課長を集め、災害対策本部の資料
を確認」したので情報共有が出来ていた、とする部署も
あり、各種対応に忙殺される状況でこそ、そうした対応
により認識の統一を図ることが有効だったものと考えら
れる。

また、近年、災害時における国、県の対応が極めて迅
速になっていることが逆に被災市町村の対応を複雑にし
ている面が指摘された。

4.2 2町事務所の体制

合併後の高柳町・西山町の各事務所における災害対応
では、初期には、事務所所長が本部員として災害対策本
部会議に参加するという規定があり、各町事務所では所
長が不在な中では、現場の指揮に困難が生じたようであ
る。

合併後の地域防災計画では、両町事務所は合併前と同
様に災害対応全般を担当することとなっており、事務所
の職員数が減少して各町以外の出身者も配置されている
中で、従来通りの対応は難しい面があったようである。
そのため、食料調達などの本庁の対応に大きく依存する
ような部分や、被害調査や避難所対応などのマンパワー
を要する部分で職員が不足し、対応に苦慮している。

4.3 事務分掌の再検討および動員等

今回の経験から大規模な災害時における庁内体制につ
いて、次のような課題が指摘された。

- ・業務量の偏り、格差の調整
- ・避難所への動員の多さと、その影響への配慮
- ・事務分掌の再確認、明確化
- ・組織変更に伴う随時の事務分掌の修正

特に避難所への動員の多さから、各部では職員のやり
くり苦慮している。一方で、職員の動員計画を担当し
た部署からは、どの課にも通常業務と災害対応業務があ

る状況で、「動員要請を各部課にできるだけ公平にかつ速
やかに割り振り、派遣することは相当高度な業務だっ
た。」との声が聞かれた。大規模災害の特徴は、発災直後
だけでなく、関連する災害対応の業務量が極めて膨大で
長期に及ぶことであり、災害対応の中長期化という観点
も踏まえて業務量の調整が求められた。

また、今回、職員の臨時雇用等に関して「初めて派遣
職員に業務を依頼し、一定の機能を果たした。臨時雇用
等により人員不足を補うことも重要な対処方策である。
新しい業務形態であることを実感した。」とする意見が寄
せられた。派遣職員の活用など、社会環境の変化を踏ま
えた新たな業務形態が有効に機能する可能性として注目
される。

4.4 職員の活動環境、勤務状況への配慮

従来、災害対応計画の中で見落とされがちな点の一つ
が、職員の活動環境、勤務状況への配慮である。こうし
た点について市職員からは、次のような声が寄せられて
いる。

- ・参集・勤務における被災職員への配慮、子どもや高
齢者を抱える職員への配慮が望まれる
- ・職員の健康管理、健康相談の実施が必要
- ・食事の確保、職員の食料等を担当するセクションの
設置が必要

参集等に関しては、本人・家族等の人的被害、家屋等
が被害を受けた場合の対応について、職員による判断に
差があり、そのことが不満につながっている面もあるよ
うに見受けられる。子どもや高齢者を抱える職員からは、
家族を残して参集したことに大きな不安があった、など
の声も聞かれた。

また、災害対応は長期間の激務となることが多く、長
時間の連続勤務は労災につながる危険性もあり注意が必
要である。しかしながら災害対応の現場では、健康管理
については「認識はあっても、なかなか行動に繋がりに
くい」というのが実態であり、「応援職員ががんばってい
るのに、自分たちだけが休めない」というような声も聞
かれた。大規模災害ほど災害対応は長期化することから
的確な労務管理、健康管理が重要である。今回の災害対
応に際して市では、健康管理、健康相談を実施しており、
その成果もあって、大きな健康被害は生じていないとい
うことである。

5. 情報収集・伝達機能とマスコミ対応

ここでは、ヒアリング等で指摘された情報収集・伝達
機能とマスコミ対応において課題とされた主なポイント
を紹介する。

5.1 情報収集・伝達機能

情報収集・伝達に関しては次のような課題の指摘が
あった。

①携帯電話の利用

携帯電話が普及しているなかで、職員個人が所有する
携帯電話などの災害時の利用ルールや通話料金の補償な
どの扱いが課題となった。特に避難所などでは職員が施

設内を移動していることも多く、携帯電話の利用は避けたい面があったようである。

なお、携帯電話は活躍したが充電環境の確保、職員の携帯電話番号や携帯メールアドレスを把握しておくことが必要だったとの意見、あるいは職員全員と番号やメールアドレス登録し合っていたので役立った、などの例も聞かれた。

②地域との情報窓口

発災後初期の情報収集機能は、災害対策本部で受信する通報と職員を派遣しての調査であり、従来から市の災害対応ではこの2つが活動や状況判断の生命線となっていたが、今回は、町内会長を通じて被害情報が収集されるまで全体的な被害状況の把握ができなかったようである。そうしたことから、本来は町内会・コミュニティとの連絡・調整がもっと必要であり重要だったのではないかとの意見と、次のような対策を検討する必要性が指摘された。

- ・町内会などから本部にかかってくる電話に専従で対応する職員を配置する。
- ・町内会・コミュニティとの情報伝達担当を対策本部情報担当から独立させる。

町内会・コミュニティからも次のような意見が寄せられており、地域との情報窓口の設置は重要な課題だったと考えられる。

《町内会・コミュニティアンケートより》

- ・市災害対策本部と町内会との連絡体制の強化が必要。
- ・町内会からの報告相談窓口が明確でなく（特に初期段階）困った。
- ・町内会長向けに強い指示、アドバイスを具体的に発信して欲しい。

③職員の情報共有

情報共有という観点では、問い合わせ対応や市民対応にあたる職員は細かな情報も必要としており、職員への的確な情報提供の仕組みが課題とされた。その意味では、災害対策本部会議の内容がFMピッカラで放送されたことは職員にも有効であったと考えられ、実際、情報源としてFMピッカラが有効だったとする職員の声は極めて多かった。

また、被災者向けの広報紙は職員に対する情報提供としても重要な媒体であった。

5.2 マスコミへの対応

マスコミへの対応は被災地内外への情報提供、広報という意味から極めて重要であることは言うまでもない。しかも、原子力発電所が立地していることもあり、柏崎市にとって、マスコミ対策は危機管理の大きな柱であったと言える。

市では、従来から災害対策本部室へマスコミが自由に立ち入っていたが、このことについては混乱を助長したという意見がある一方で、迅速かつ的確な広報に結びついたというメリットを指摘する見方もある。今回実施したヒアリング等では、次のような対応上の苦労や課題が指摘された。

- ・マスコミの問い合わせが多く、その対応が活動の足かせになった。
- ・数字が一人歩きしたり、誘導的な質問がなされることがあった。
- ・本部室の中にマスコミがいたため相談、決定、決裁、会議などに影響した。
- ・報道機関の常識を超えた取材が行われ、市民を守る意味で問題と感じた。

一方、今回マスコミに災害対策本部を公開したことについては、次のようなメリットがあげられた。

- ・初動の段階では、混乱している状態の中で、情報を統制しながら記者会見を行うのは不可能。マスコミの判断で取捨選択された情報が報道されたと考えられる。
- ・災害対策本部の公開、プレスルームの提供及びそこへの情報提供は、情報の一元化となり、無駄に記者を各部署への個別取材防止する上でも有効であった。
- ・責任ある立場の本部員が回答することで、間違った報道をされなかった。

マスコミ対策は地震だけでなく、どの危機管理においても不可欠な事項であり、特に、原子力発電所立地自治体にとっては、極めて重要な課題であることが改めて明らかとなった。

6. 災害時要援護者への対応

ここでは、ヒアリング等で指摘された、災害時要援護者への対応において課題とされた主なポイントを紹介する。

6.1 安否確認

(1) 高齢者の安否確認

市の福祉保健部要援護者支援班（介護高齢課）では、65歳以上の高齢者が24,444人、高齢化率26.15%という中で、高齢者、単身高齢者、高齢者のみ世帯、高齢者と児童の世帯の合計9,017人を対象として安否の確認を実施している。対象者については、老人台帳によって民生委員と情報を共有しており、毎年2月に65歳以上の市民について民生委員別に名簿を渡し、状況の確認を依頼している。この老人台帳は介護保険の台帳と住民基本台帳とをリンクしている。なお、寝たきり老人や痴呆老人についてのデータは把握しきれていない状態だったとのことである。自主防災会には要援護者リストは提供されておらず、柏崎市では手挙げ方式で要援護者を調査するよう要請している。

介護認定を受けている方については、ケアマネージャーの事業所に契約をしている方々の安否の確認を行うよう、要請している。

包括支援センターには特に協力の依頼はなされなかったが、それぞれで対応していたようである。ケアマネ事業所以外でも特にデイサービス関係はデイサービスが止まってしまったので、「予約があっても受け入れられない」という連絡をしながらの安否確認が行われたようである。訪問看護の対象者についても、介護の中で医療に

一番近い方々のことが一番わかるのは自分たちであるという意識で訪問し、在宅で可能なのか、施設がいいのか、入院がいいのか、避難所がいいのか、というところの見分けを、家屋がどの程度の状況なのかも勘案しながら対応したとされる。

こうして進められた要援護者の安否確認作業には、最終的には7月21日までの5日間を要している。

(2) 障害者の安否確認

障害者については、市福祉課が担当となり新潟県の応援も受けながらアフターケアも含めて安否確認が進められた。なお、障害者の名簿は、プライバシー保護や情報提供のコンセンサスにまだ課題あるため外部には提供しない方針であり、庁内の情報共有にとどまっていた。

(3) 高齢者・障害者の安否確認の課題、ポイント

ヒアリングでは、次の2つが今後取り組むべきポイントとして指摘された。

- ・高齢者率も非常に高く、障害者数も職員だけで確認できる状況でもなかったことから、自主防災組織等との役割分担も含めて、本来どうあるべきなのかを検討する。
- ・障害者自立支援法制度の改革などにより、市の持つ情報の質が低下した。一方、各種サービス事業の利用者に対しては事業者による安否確認が適切・迅速に実施されている。
- ・福祉保健部は各部からの動員に追われ、本来業務に対する人的確保は容易ではなかったという面もあり、保健師以外の一般職員は、避難所当番、物資対応などに動員されている。災害発生時から要援護者等の安否確認作業を優先していく必要があった。
- ・個人情報の保護の問題もあるが、情報の共有がされていないため複数の課が同じ事をしていた。
- ・住宅が被災していれば、自宅に電話をしても確認ができないのは分かっていることなので、安否確認の方法も検討する必要があった。

6.2 緊急入所

要援護者の安否確認後は、自宅・避難所・福祉避難所・専門の施設等への緊急入所が実施された。

高齢者については、特別養護老人ホームや通常の福祉施設への緊急入所が実施された。この緊急入所は、定員をオーバーして受け入れることができる制度である。今回の地震では3年前の中越地震での対応状況を目の当たりにしていた施設から受入への協力が得られたとのことである。

緊急入所については、受け入れ先を判断できる人材の確保が課題であり、ケアマネジャーは契約者の対応で手一杯だったことや、保健師では判断できない場合もあり、外部応援の活用などが必要だったとされる。

なお、中越地震では、緊急入所者が退所できない状態が長期化している実態がある。この点について柏崎市では、緊急入所期間は最長2年としているが、今後の実態を見ながら施設と連携したいとのことである。

6.3 福祉避難所の開設 (表10, 表11, 表12)

表10 福祉避難所の設置箇所一覧

Table 10 Evacuation shelters provided with welfare facility.

開設場所	規模 (人)	開設期間	運営主体
柏崎小学校コミュニティデイホームはまなす	30	7/19-8/31	(社)新潟県老人福祉施設協議会
特別養護老人ホームいこいの里	10	7/19-7/31	(福)泚山会
長浜デイサービスセンターふれあい	10	7/20-7/31	(株)ツクイ
元気館障害者デイサービス	10	7/20-8/5	(社)新潟県老人福祉施設協議会
県立柏崎高等学校セミナーハウス(米峰会館)	20	7/21-8/31	新潟県介護老人保険施設協会
特別養護老人ホームくじらなみ	10	7/29-8/17	(福)泚山会

表11 利用者数

Table 11 Number of shelter users.

開設場所	規模 (人)	施設最大	開設日数	延避難者	日平均	実避難者
柏崎小	30	28	44	772	18	42
いこい	10	5	13	41	3	6
長浜デイ	10	10	12	85	7	10
元気館	10	13	17	152	9	26
柏崎高	20	13	42	248	6	16
くじらなみ	10	5	20	70	4	5
合計	90	56	44	1,368	31	105

表12 利用者の内訳

Table 12 Breakdown of the total.

実避難者総数	高齢者等の区分					高齢者のうち		
	高齢者	障害者	乳幼児	児童	他	自立	要支援	要介護
105	86	7	1	2	9	44	16	26

避難所における要援護者のための福祉避難所設置の支援については、市介護高齢課を中心に対処がなされた。柏崎市内では6か所の福祉避難所が開設され、最長1か月半設置された。

市では、福祉避難所の事前指定などは行っておらず、県の主導により開設が進められた。

通常使用している場所にベッドを入れて福祉避難所とされた。ベッドは、取り扱う事業者より必要な数だけ確保できたが、ベッドを置くスペースがないという問題が

あった。さらに、長期化すると本来の施設利用者もいるため施設を返さざるを得なくなり、民間の事業所では福祉避難所を順次閉鎖しており、最後まで開設していたのは、柏崎小学校（福祉保健部で教室を確保）と柏崎高校セミナーハウスであった。

福祉避難所の運営については、新潟県老人福祉施設協議会・介護老人保健施設協会や福祉法人が主体となった。柏崎市では、開設する場所の確保と必要な資機材の準備、開設後は食糧や不足物資の対応などを行っている。なお、福祉避難所では見まもり活動が中心であり、入所高齢者の約半数は「自立」レベルで、介護サービスの利用は3件にとどまった。退所後の行き先・受け入れ先確認は、県からの指示で市が実施したが、最後まで調整が難航した避難者もいたようである。

中越地震では緊急避難として入所した要援護者が、その後長期的に在宅に戻れない状況となったことが指摘されているが、今回の中越沖地震では、福祉避難所の開設により緊急入所者数が減少しているとして、その有効性が評価されている。

ヒアリングでは福祉避難所について、次のような意見が聞かれた。

- ・福祉避難所の具体的な開設場所や手順、役割分担などをこれから検討という段階での被災であったため、かなり混乱したし、もっと関係課での連携をとるべきところがあった。
- ・8月7日には75人の方々が市外の施設に避難していたが、今回は柏崎・刈羽に限定的な地震で長岡へ行けばライフラインも動いており、こうした取り組みをもっと進めるべきだった。
- ・福祉避難所のコーディネート役が必要だった。
- ・身近なところで虚弱な方が避難でき、市外に行くより避難者は安心できたのではないか。高齢者や弱者が孤立しないよう、できるだけ交流しやすい場に居場所を準備することが支援にかける労力が少なく済むように思う。
- ・今回の地震のような災害時では特に障害を持つ人や普段の日常生活では特に問題のないと思われる障害を持つ人でも、早急な支援の手が必要だということをもっと認識させられた。

6.4 相談対応

(1) 障害者相談支援センター

柏崎市には、発災翌日の17日に新潟県から障害者対応の拠点を立ち上げるとの連絡があり、翌18日には支援センターが立ち上がった。そのセンターを拠点に、県内からの相談支援事業者の応援も得て、障害者のリストにもとづいて1件1件安否確認の調査が実施された。そうしたローラー作戦等によって具体的に把握された障害者の入浴、聴覚障害の人たちの手話通訳などを始めとする各種ニーズについては、県の支援を得て諸団体を通じて対応がなされていった。

(2) 高齢者総合相談窓口の設置

在宅高齢者を対象とした福祉相談は7月20日から

27日まで元気館で実施されていたが、7月28日には高齢者世帯のあらゆる困りごと相談を受けて対応可能な部署の紹介や連絡を行うワンストップの高齢者総合相談窓口が開設された。相談業務には、県社会福祉士会からの会員派遣を受け、現地保健福祉本部と柏崎市元気館の2か所で相談業務が行われた。8月11日からは元気館に統合され、8月31日まで続けられた。

6.5 県現地対策本部の開設

今回特筆される対応の一つは新潟県が設置した現地福祉保健本部である。要介護高齢者の安否確認が進まない実態を踏まえ、発災6日後の7月21日から8月10日までの21日間柏崎保健所内に設置された。県現地対策本部における主なミッションは次の事項であった。

- ①健康福祉ニーズ調査の実施
- ②福祉専門職ボランティアの活動支援
- ③高齢者総合相談窓口の開設
- ④柏崎市の保健福祉関係課との連絡

こうした県の対応について、市からは、「今回の災害では県のほうからかなり支援があった。県は大災害のときにこういうふう動くということを事前に承知していれば、もう少しうまくいったのではないかという実感がある。」との意見が聞かれた。

7. 避難所運営と物資の配付

柏崎市では、避難所運営と食糧・物資等の配給に極めて多くのマンパワーを要したようでありヒアリングや職員アンケートにも多くの課題の指摘、あるいは今後に向けた提案が寄せられた。

7.1 避難所運営

7.1.1 避難所の運営体制等

柏崎市では、基本的に小中学校、コミュニティセンター等の公共施設を避難所としている。しかし、避難所運営に関しては、それぞれの施設管理者によって関与の程度や役割分担が異なるなどの面があったようであり市職員、教員、コミュニティセンターの職員、コミュニティ協議会、町内会などの各種主体が関係し、避難所によってその運営形態は様々となった。

また、避難所の運営については小さな避難所では次のように、高齢者等が主体的に対応するなどの傾向があったことも指摘された（厚生労働省、2008）。

《小規模な避難所における高齢者》

- ・小さな避難所は年寄りが元気だが、大きなところは元気がない。単位を小さくしたり、保育園児と一緒に生活できるようにしたら、保育士も頑張り、元気が出てきた。
- ・小さな避難所は、地域の中で顔見知りだということもあり、避難者自ら動いているので元気ですが、一か所で400人もの避難者がいる中心部の避難所ではリーダーになる人も出ないし、お年寄りも元気ありません。

なお、この地震では指定管理者制度により運営されていた公共施設も避難所となったが、特に運営上の課題を

指摘する声は聞かれなかった。

7.1.2 職員の動員・配置

今回の地震で柏崎市では避難所がピーク時に 80 か所を超えたことから、職員の動員・配置は困難を極めた。特に避難所では 24 時間勤務とされたために動員の翌日は休みとせざるを得ないため、1 日の動員で 2 日間職員を割かれることとなり、各部課とも厳しい業務態勢を強いられることとなった。

また、当初は、職員が毎回異なった避難所に配置されるなどの状況があり不都合も生じたようである。職員からは毎回異なる場所になり、「避難所毎に独自ルールがあり混乱した。」「最初から全部の引継ぎが必要となった。」などの声が聞かれた。町内会・コミュニティなどからも同様に、「職員の日替わり派遣では情報がうまく伝わらない。同じ職員を継続して配置して欲しい。」「担当職員の指示内容が日ごとによって変わって混乱を招いた。」などの声が寄せられた。

こうした状況をもたらした大きな要因の一つは、夜間勤務の負荷の大きさであったとされる。女性職員の避難所夜間勤務もあり、その妥当性を疑問視する声もあった。

7.1.3 難所運営のノウハウ、留意点

避難所運営については、今回の経験を踏まえたノウハウ、改善点、あるいは留意事項が多数寄せられた。以下に、代表的なものを例示する。

○本部との情報連絡

「本部との情報連絡については特に学校の体育館が避難所となった場合に、電話などのある教務室が離れた位置にあると、対応に不都合が生じた。」との声が聞かれた。

○避難者名簿の改善

「避難者名簿については、『病人のチェック欄』『国籍欄』『各施設内での居場所』の追加などが必要だった、あるいは有効だった」との意見がある。これらは、支援者と避難者を効果的にマッチングするために必要とされた。

○マスコミへの対応

「マスコミの傍若無人な取材が見られた。避難者を守る観点からも何らかの制限が必要である。」との声があった。

○必要な物資等の調達方策

「避難所での各種物資等の確保については、隣接する避難所間で、不足している物資を相互に補完した」「対策本部を通じて入手できないものを独自に調達した」などの例が見られた。隣接する避難所間であれば、搬送も比較的容易であり、小回りの利く対応が可能となる。さらに、そうした情報交換は、避難所運営や周辺の地域情報の共有にもつながったものと考えられる。

○様々な避難者を考慮した対応

「避難所では、要介護の方への対応は待ったなしで求められた。」とされる。「初期対応はともかく、女性のお年寄りの下の世話などもあるので、避難所対応職員は男女ペアが望ましい」というような意見も聞かれた。

○避難所の閉鎖

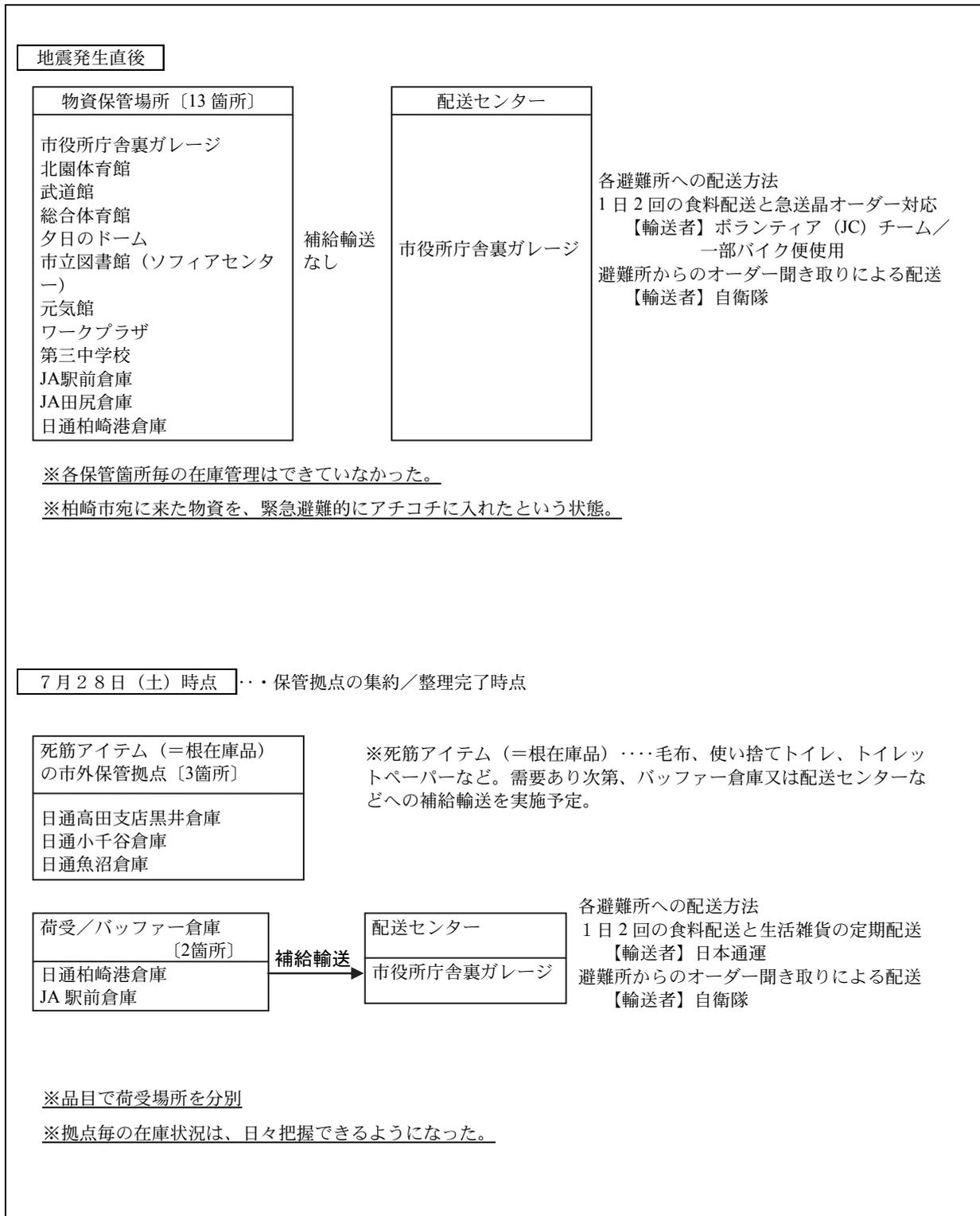
表 13 日本通運（株）の取り組み

Table 13 Efforts of Nippon Express Co., Ltd.

月 日	概 要
7月17日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 午後より荷受状況を視察。市役所駐車場裏ガレージでの荷受を止め、日通柏崎港倉庫での荷受に切り替えた。 避難所への配送状況については、ヒアリング・把握できず。 市に、翌日の一斉在庫調査を実施することを提案。
7月18日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループと分担分けして、在庫調査を開始。 避難所配送で臨便要請(ブルーシート配送)。 県より荷受・配送業務のオペレート業務請負の可否について打診。
7月19日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 夕方、荷受体制について、教育委員会総務課と打ち合わせ。
7月20日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> この日より避難所への配送業務を柏崎市から請け負う。 引継ぎと助力をお願いしていたボランティアが引きあげたことにより、食事配送の消化しかできず。 ルート便配送での運用を試みたが効果的ではないとの結論に達した。 本部要員 1 名増員(在庫拠点の状況把握を担当)。
7月21日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ルートを組まず、順次ピストン式で積ませて出発させ、車両の回転で軒数をこなす方法に切り替え。 散らばった在庫拠点から、市役所配送センター行きの供給便を投入した。(4トン×2台) 生活雑貨の需要が出て食事配送便と一緒に輸送する程度が多くなった。 在庫状況の把握が概ねでき、市役所に報告できるようになった。
7月22日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> 在庫と保管拠点の今後の展開について終息させる拠点等を提案する。 ニーズのなくなった品目(毛布、使い捨てトイレ、トイレトパーなど)の市外保管拠点(日通黒井・日通小千谷・日通小出)への移送開始。 市役所配送センターでの荷役に、当社のロールコンビを用いる。(10基)
7月23日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊を含めて、荷受担当部署である教育委員会と打ち合わせ。 終息させる拠点について/荷役人員の派出体制/物品納入情報の取り扱い方/自衛隊の動き方(→市災害対策本部の直命で、避難所からのオーダー取りをして、その物品を輸送していることが判明) 物品納入情報が当方に集約されてきて、避難所への配送日程等を確認した上で、アイテム別に荷卸場所を随時指示できるようになってきた。 在庫状況の市へのデータは、当社港倉庫以外のものを午後 3 時時点のものを当日退庁前に出すことにした。加えて、翌日午前 10 時目途で当社港倉庫の在庫状況を報告することとした。そのデータは、自衛隊も活用してもらうこととした。

図3 震災後の各時期における物流体制の概要

Fig.3 Overview of logistic system available in each time following the earthquake.

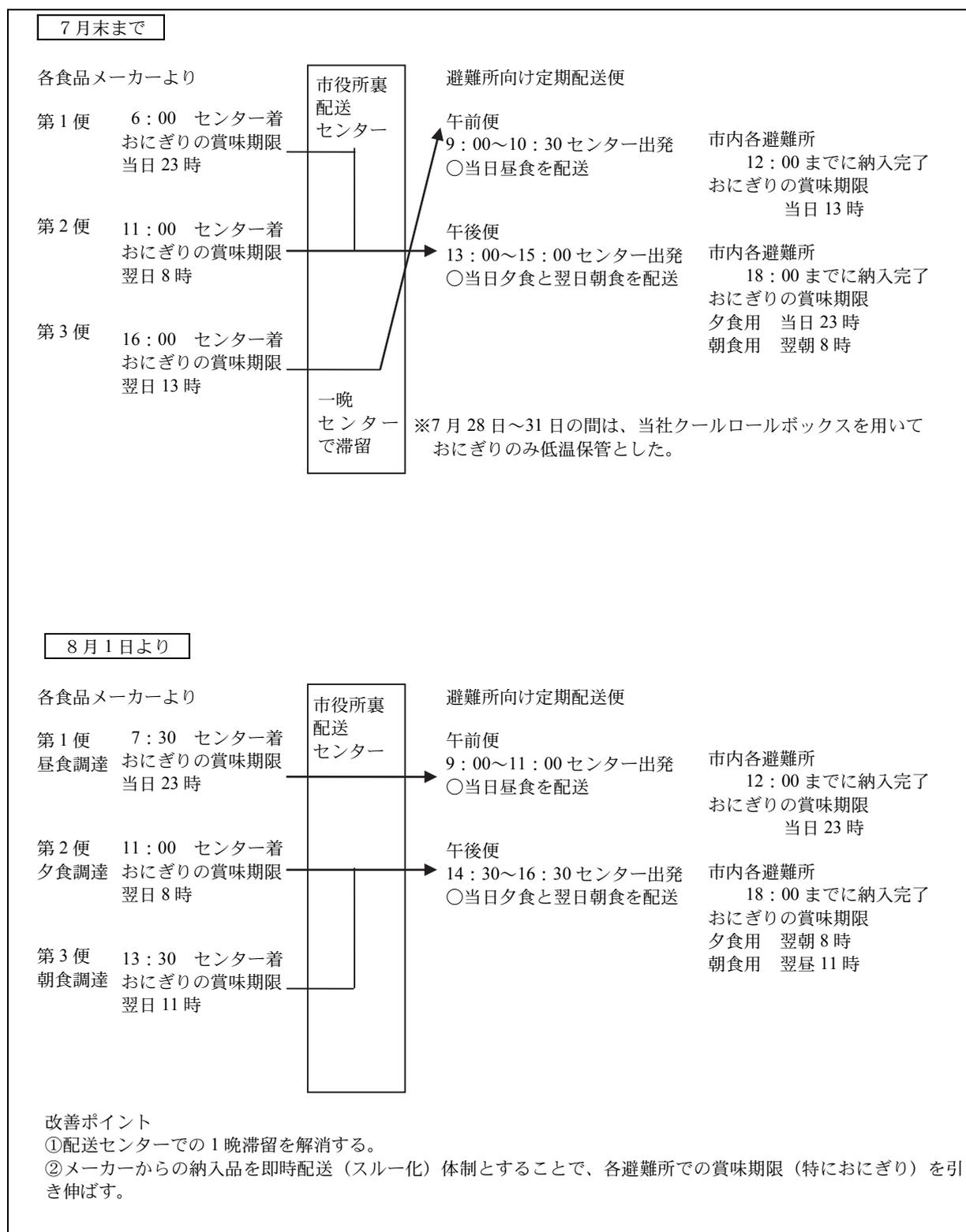


通常、避難所の統廃合には困難を伴い、避難所設置は長期化しがちである。しかし今回は、各避難所にそれぞれの避難所の閉鎖を担当する管理職を割り当て、避難している世帯個々に対してきめ細かな対応が図られ、スムーズに避難所の閉鎖（一部世帯は待機所への移動）が進められた。

7.2 食糧・物資の供給

柏崎市では、当初、食糧・物資の調達はあるが、それを必要としている被災者の手元に届けられない、という状況が続いた。新潟県、柏崎市ともに個人からの救援物資を断る決断は有効であったが、今回の地震被害が柏崎市に集中していたために全国からの救援物資が殺到し、

図4 食料品調達と定期配送便の運用
Fig.4 Food supply and operation of regular delivery service.



市職員による処理能力を超えたのである。

また、救援物資が集中して物資提供が長期化したことから、そもそも「誰が救援を要する被災者なのか」「行政による救援はどのレベルまで必要か」などに関する疑問の声も多く聞かれた。こうした経験を踏まえて、物資等

の供給に関して次のような指摘があった。

①県・自衛隊・市の役割分担

食糧・物資の供給については、県による物資調達、自衛隊による炊き出しや輸送等、数多くの関係機関が活動した。そうした中で、災害救助の制度的な枠組みの中で、

県、自衛隊、市の役割分担や指揮系統が必ずしも明確でない状況があったようである。今回のような規模の災害では、市職員だけの食糧・物資対応は困難であり、県、自衛隊、民間も交えた全体的な体制及び運用のあり方を検討する必要があったものと考えられる。

②物資等の集配場所、機材等

物資等の集配場所等については、スペース、駐車場不足になるなど市役所車庫利用には問題が多いこと、市内の保管場所が多く交通渋滞に巻き込まれて物資の搬送が遅れたこと、などの問題が生じた。特に、市役所を初めとする市中心部に集積場所を設置することには、デメリットが多かったようである。

また、荷裁きに関しては、フォークリフト等での作業を可能とするなど、機材の活用による効率化を図ることが必要との指摘も多かった。

③対応態勢

食糧・物資の供給については、市内の役割分担で、物資の受け入れ（教育委員会）と払い出し（商工振興課）の担当が違ったため、在庫管理などに不都合な面が生じたようである。

ある一定規模の以上の災害となった場合、物資の扱いに専門家の支援は不可欠であり、今回の地震でも、日本通運（株）に業務を委託したことにより物資の受け入れ・配給の混乱は急速に収束している。なお、参考資料として表 13、図 3、図 4 に日本通運（株）による物資の受け入れ・配給への対応状況の資料を掲載した。

④真に救助物資を必要としている人への対応

柏崎市では、避難所にいる市民だけではなく、必要とする市民には基本的に食糧・物資を配布する方針で対応していた。当初、そうした対応は不可欠だったが、ある程度、ライフラインの復旧や店舗等が再開した地区では真に必要としている被災者のみに限定していく必要があったのではないかと、という意見が聞かれた。

柏崎市では、最終的には食事の配給券を配付する方式としたが、そうした措置がなされるまでの間、避難所等の近隣の店舗からは苦情等もあったようである。また、役所へ行けば何かもらえるという意識を市民に与えてしまった面があったのではないかと、との指摘も聞かれた。

8. おわりに—今後の防災体制構築への視点

ここまでみてきた中越沖地震への柏崎市の対応から、いくつかの新たな防災体制構築への視点が得られた。主なポイントは次のとおりである。

①中越大地震の経験から、本部の立ち上がりや各部の初動は比較的スムーズだった。しかしながら、被害エリアが柏崎市に集中したこと、原子力発電所での火災が発生したことなどからマスコミの注目が集まった。原子力発

電所立地地域などでは、マスコミ対応が大きな課題となることが改めて確認された。

②食糧・物資輸送などについては民間事業者の能力の高さが改めて認識された。要援護者の安否確認や必要な措置の実施に関しても介護保険制度、障害者自立支援法関連の各種サービスを提供する民間事業者などの対応が極めて有効だった。これらを初めとして、災害時における地域の重要な防災資源として、民間事業者等の能力を最大限に生かすこと、およびその環境づくりを進めることが今後の大きな課題といえる。

③高柳町、西山町との合併後の大規模地震であり、災害対応に関する本庁各部と両町事務所の役割分担などに関する課題が生じた。市町村合併後の防災体制については、合併直後の過渡期と将来的なあり方等について、必ずしも十分な検討がなされていないケースも多いと考えられる。

④柏崎市は原子力発電所の立地地域であり、今回の地震で、自然災害・原子力災害の複合災害時への対応も大きな課題の一つであることが明らかとなった。これは、一市町村のみで検討できることではなく、国・県・事業者などにおける検討が必要と考えられる。

⑤今回の地震では、柏崎市の庁舎に被害が生じて、災害対応の継続可能性が初動期における不安材料の一つとなった。一方、情報システム・アウトソーシングなどを進めていたことがシステム被害を回避するために役立ち、その後の復旧・復興に大きく貢献した。自治体におけるBCP（Business Continuity Plan:事業継続計画。自治体のBCPをCOOP:Continuity of Operation Plan:業務継続計画と表現する場合もある。）への取り組みを積極的に推進することの必要性が改めて認識された。なお、その際には、今後ますます広がると考えられる指定管理者制度についても、災害時における指定管理者の対応について避難者対応の実施、機能回復・業務再開への取り組みなどを明確にしておくことが必要と考えられる。

参考文献

- 1) 総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会
中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するワーキンググループ：第3回配布資料，平成19年10月11日。
- 2) (株)サーベイリサーチセンター：（自主研究）新潟県中越沖地震に関するアンケート調査，平成19年10月。
- 3) 厚生労働省：平成19（2007）年新潟県中越沖地における災害救助に係る活動記録，平成20年5月。

（原稿受理：2009年1月6日）

表14 柏崎市の広報記録（防災行政無線とホームページ）
Table 14 Public announcement related to the disaster by Kashiwazaki City (radio and website).

7月16日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
10:15	災害注意喚起	津波注意報（自動放送）	津波注意報（自動放送）
10:50	災害注意喚起	津波注意報発令中、市民への呼びかけ、原発の停止	津波注意報発令中、市民への呼びかけ、原発の停止
11:10	避難所、ガス	避難所開設、ガス供給停止	避難所を順次開設しているので避難してほしい。全市ガス供給停止しているが、ガス漏れがあるため火の使用はしないでほしい。
11:20	災害注意喚起	津波注意報解除（自動放送）	津波注意報解除（自動放送）
11:25	原子力	原子力発電所について	原発3号機の変圧器から出火しているが、放射能の心配はない。全号機停止している。
11:40	上水道	水道停止	今後水道供給を順次停止するので今のうちに水を確保してほしい。
12:05	交通	鉄道、バス、高速道路情報	鉄道、バス、高速道路の運休・不通情報。
12:05	電気	停電情報	市内はほぼ全域で停電となっている。
12:20	ガス・上水道	ガス・水道の停止について	全市内のガスと水道を停止している。ガス漏れが心配されるので、絶対に火を近づけないように。各家庭のガス栓は各自で止めるように。
12:25	原子力	原子力発電所火災鎮火について	原発3号機のトランスメーターの火災は12:10鎮火した。
12:35	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
13:04	災害注意喚起(電気)	危険な電線や電柱に注意	地震により垂れ下がった電線や機器がずれて危険な電柱には近づかないように。
13:27	ガス・上水道	ガス・水道の停止について	全市内のガスと水道を停止している。ガス漏れが心配されるので、絶対に火を近づけないように。各家庭のガス栓は各自で止めるように。
13:40	避難所	避難所開設	市内全ての小学校・中学校・コミュニティセンターを避難所として開設した。水、食料は手配中。
14:25	避難所	避難所開設	市内全ての小学校・中学校・コミュニティセンターを避難所として開設した。水、食料は手配中。
14:45	避難所	使用できない避難所について	使用できない避難所と代替避難所について
14:48	災害注意喚起(電気、ガス)	倒れた電柱・電線、ガス漏れに注意	倒れた電柱・電線、ガス漏れに注意。ガス器具は使用しないように。
15:03	避難所	満員の避難所について	避難所で一杯の避難所と代替避難所について
15:24	教育	小中高校、保育園の休校について	市内全ての小学校・中学校・高等学校および全ての市立保育園は、明日17日は休校。それ以降は改めて連絡。
15:54	教育	小中高校、保育園、児童クラブの休校、休園について	市内全ての小学校・中学校・高等学校および全ての市立保育園、私立保育園、私立幼稚園、児童クラブは、明日17日は休校、休園。それ以降は改めて連絡。
16:06	災害注意喚起(倒壊建物)	倒壊危険家屋に注意	倒壊の危険のある家屋へは近寄らないように。余震が続いているのでブルーシート作業は控えて欲しい。
16:13	教育	大学の休校について	新潟産業大学・新潟工科大学は17～20日休校。
16:13	災害注意喚起(電気、ガス)	危険な電線や電柱、ガス漏れに注意	地震により垂れ下がった電線や機器がずれて危険な電柱には近づかないように。また、ガス漏れが心配されるので、ガス器具は使用しないように。
16:31	物資提供	食料・水の配送遅れ	避難所へ食料・水を随時運んでいるが、交通事情等により遅れている。
17:03	電気・ガス・水道	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない。ガス漏れが心配されるので、ガス器具は使用しないように。
17:24	避難所	避難所開設	柏崎高校、常盤高校、柏崎工業高校を避難所として開設した。
17:51	電気・ガス・水道	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない。ガス漏れが心配されるので、ガス器具は使用しないように。
17:54	医療・福祉	車中避難での注意	車中など狭い所に長時間避難を続けると体調を崩す恐れがあるので注意。
18:08	医療・福祉	集団検診・施設健診の日程変更	17～20日の集団検診及び施設健診は日程を変更する。後日改めて日程をお知らせする。
18:33	応急危険度判定	明日から応急危険度判定	明日から応急危険度判定のため判定員が建物に立ち入ることがあるのでご協力いただきたい。
18:36	災害注意喚起(倒壊建物)	倒壊危険家屋に注意	夕暮れになってきたので、家屋の倒壊の心配される方は、早めに避難してほしい。
18:38	災害注意喚起(電気、ガス)	危険な電線や電柱、ガス漏れに注意	地震により垂れ下がった電線や機器がずれて危険な電柱には近づかないように。また、ガス漏れが心配されるので、ガス器具は使用しないように。
18:42	教育	小中高校、保育園、児童クラブの休校、休園について	市内全ての小学校・中学校・高等学校および全ての市立保育園、私立保育園、私立幼稚園、児童クラブは、明日17日は休校、休園。それ以降は改めて連絡。
19:18	物資提供	食料・水の配送遅れ	避難所へ食料・水を手配しているが、交通事情等により遅れている。
19:20	医療・福祉	救護所開設	柏崎小学校・総合福祉センター内に日赤医療チームによる救護所が開設された。
19:25	物資提供	食料・水の配送	避難所へ食料・水を順次運搬している。
19:30	電気・ガス・水道	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない。ガス漏れが心配されるので、ガス器具は使用しないように。
19:35	医療・福祉	車中避難での注意	車中など狭い所に長時間避難を続けると体調を崩す恐れがあるので注意。
19:40	応急危険度判定	明日から応急危険度判定	明日から応急危険度判定のため判定員が建物に立ち入ることがあるのでご協力いただきたい。
20:15	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	道路状況が非常に悪く、陥没等が至る所にあるので通行に注意してほしい。
20:40	ごみ	ゴミの収集予定	明日の燃やすゴミ収集は通常通りだが、粗大ゴミ収集は行わない。
20:50	物資提供	食料・水の配送	避難所へ食料・水を順次運搬している。
21:30	医療・福祉	人工透析について	明日午後日、人工透析予定の方は、郡病院または元気館へ連絡してほしい。
21:35	ごみ	ゴミの収集予定	明日の燃やすゴミ収集は通常通りだが、粗大ゴミ収集は行わない。
21:55	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
22:00	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
22:50	給水・物資提供	給水車が出勤中	全てのコメセンに向けて給水車が出勤している。各避難所への水・食料は現在配布を進めている。
不明	選挙	参議院議員選挙の期日前投票について	参議院議員選挙の期日前投票は市役所第二分館のみで行う。

※時刻欄に「不明」とあるものは、原稿は残っているが時刻が不明のもの。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月16日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
14:52	災害情報／電気・ガス・上下水道・電話	電線・電柱にご注意ください	周囲に注意し、移動してください。
15:01	災害情報／避難所	避難所の開設について	市内全ての小学校・中学校及びコミュニティセンターを避難所として開設しました。
15:10	災害情報／避難所	北条南小学校及び南崎石小学校が避難所として使用できません	それぞれ、次のとおり別の避難所の使用をお願いいたします。
15:22	災害情報／電気・ガス・上下水道・電話	ガス器具は使用しないでください	ガス漏れが心配されますので、ガス器具の使用はしないでください。
15:30	避難所	柏崎小学校は避難者が一杯です	これから避難される方は、次の場所へ避難してください。
17:05	災害情報／被害状況のまとめ	15時現在の被害状況をお知らせします	15時現在の被害状況
17:10	保育園・幼稚園・小中学校・大学	新潟産業大学・新潟工科大学の休校について	新潟産業大学及び新潟工科大学は17日から20日まで休校です
17:20	災害情報／電気・ガス・上下水道・電話	電気、ガス、水道の施設は点検作業中	電気、ガス、水道の施設は点検作業中
17:21	全カテゴリー	新潟県上中越沖で発生した地震の情報について	新潟県上中越沖で発生した地震の情報の詳細は災害分野別情報から確認してください
17:37	災害情報／被害状況のまとめ	16時現在の被害状況をお知らせします	16時現在の被害状況
17:52	避難所	避難所への食料・飲料水の運搬について	食料・飲料水を随時運んでおりますが、交通事情等により送れています。
18:06	電気・ガス・上下水道・電話／災害情報	電気、ガス、水道の本日中の復旧の見込みは立っておりません	電気、ガス、水道の本日中の復旧の見込みは立っておりません。
18:16	避難所	柏崎・常盤・柏崎工業高校を避難所として開設しました	柏崎・常盤・柏崎工業高校を避難所として開設しました
18:32	医療・福祉／災害情報	避難時における体調管理に注意してください	避難時における体調管理に注意してください。
18:48	医療・福祉	基本検診等の日程変更について	基本検診等の日程変更を変更します
19:30	救援物資・義援金	柏崎市災害対策本部より他市等への支援要請	柏崎市災害対策本部では下記のとおり物資が不足しています
20:01	医療・福祉	透析を受けられている方を十日町クリニックに搬送します	透析を受けられている方を十日町クリニックに搬送します
20:04	医療・福祉	刈羽郡総合病院の状況について（午後5時現在）	刈羽郡総合病院の状況についてお知らせします。（午後5時現在）
20:10	避難所	避難所への食料・飲料水の運搬について	食料及び水につきましては、現在、避難所へ順次運搬しておりますので、今しばらくお待ちください。
20:27	災害情報／避難所	全消防団が各管轄区域内を巡回しています	全消防団が各管轄区域内を巡回しています
20:35	医療・福祉	市内各病院の状況について（午後7時30分現在）	市内各病院の状況についてお知らせします。（午後7時30分現在）
21:22	道路	道路状況が悪くなっていますので、通行には注意してください	道路状況が悪くなっていますので、通行には注意してください
21:31	道路	柏崎市内の道路の通行止めの状況をお知らせします（午後8時現在）	柏崎市内の道路の通行止めの状況です。（午後8時現在）
21:46	避難所	避難所への食料・飲料水の運搬について	食料及び水につきましては、現在、避難所へ順次運搬しておりますので、今しばらくお待ちください。
22:22	道路	国道8号線の通行止めの状況です。（午後9時現在）	国道8号線の通行止めの状況です。（午後9時現在）
22:22	保育園・幼稚園・小中学校・大学	市内各小中学校施設の被害状況	市内各小中学校施設の被害状況
22:29	医療・福祉／災害情報	透析をされている方は郡病院又は元気館へ連絡してください	透析をされている方は郡病院又は元気館へ連絡してください
22:43	災害情報／被害状況のまとめ	22時現在の被害状況をお知らせします	22時現在の被害状況
23:03	避難所	避難所への給水車の出動について	ただ今、ガス水道局から31ヵ所全てのコミセンに向けて、給水車が出動しています。
23:40	電気・ガス・上下水道・電話	市内の停電状況をお知らせします（23時現在）	市内の停電状況をお知らせします（23時現在）

7月17日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
6:10	ごみ	ゴミの収集予定	今日の燃やすゴミは通常通りに収集するが、粗大ゴミの収集は行わない。
6:00	災害注意喚起(電気)	危険な電線や電柱に注意	地震により垂れ下がった電線や機器がずれて危険な電柱には近づかないように。
6:20	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	市内道路が悪く陥没等あるので、通行に注意してほしい。
6:20	給水・物資提供	給水車が出勤中	給水車が市内のコミセンに出勤している。
6:24	医療・福祉	人工透析について	刈羽郡総合病院にて人工透析予定の方は、病院の指示に従ってほしい。
6:30	応急危険度判定	今日から応急危険度判定	今日から応急危険度判定のため判定員が建物に立ち入ることになるのでご協力いただきたい。
6:35	教育	小中高校、保育園、児童クラブの休校・休園について	市内全ての小学校・中学校・高等学校および全ての市立保育園・私立保育園・私立幼稚園・児童クラブは、今日は休校・休園、それ以降は改めて連絡。
6:37	教育	大学の休校について	新潟産業大学及び新潟工科大学は17日～20日まで休校
6:40	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
6:40	給水・物資提供	給水車が出勤中	給水車が市内のコミセンに出勤している。
7:00	交通	主な道路の通行止め箇所	主な道路の通行止め箇所
7:35	医療・福祉	公共施設の休館	ソフィアセンター・市民プラザ・総合体育館・体育施設は当分の間休館。
7:37	医療・福祉	病院の診療予定	刈羽郡総合病院は救急患者のみ対応。通常診療は休み。
7:45	医療・福祉	公共施設の休館	ソフィアセンター・市民プラザ・総合体育館・体育施設は当分の間休館。
7:48	医療・福祉	病院の診療予定	刈羽郡総合病院は救急患者のみ対応。通常診療は休み。
8:15	医療・福祉	人工透析について	刈羽郡総合病院にて人工透析予定の方は、病院の指示に従ってほしい。
8:18	給水・物資提供	給水車が出勤中	給水車が市内のコミセンおよび主な小中学校に出勤している。
8:28	医療・福祉	病院の診療予定	刈羽郡総合病院は救急患者のみ対応。通常診療は休み。
8:30	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
8:34	応急危険度判定	今日から応急危険度判定	今日から応急危険度判定のため判定員が建物に立ち入ることになるのでご協力いただきたい。
8:38	災害注意喚起(電気)	危険な電線や電柱に注意	地震により垂れ下がった電線や機器がずれて危険な電柱には近づかないように。
8:42	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	市内道路が悪く陥没等あるので、通行に注意してほしい。
9:38	ごみ	ゴミの収集予定	火・木・土に燃やすゴミを収集するが、できるだけ減らして欲しい。当分の間粗大ゴミ・燃やさないゴミ・資源物の収集は行わない。ただし18日13:00～17:00小松エスト跡地でどうしても早く処分したいゴミは受け入れる。
12:30	被害状況調査	今日の午後から家屋の被害状況調査開始	今日の午後から家屋の被害状況調査を始める。今回は外見からの調査なので立会い不要。
12:30	ごみ	ゴミの収集予定	火・木・土に燃やすゴミを収集するが、できるだけ減らして欲しい。当分の間粗大ゴミ・燃やさないゴミ・資源物の収集は行わない。ただし18日13:00～17:00小松エスト跡地でどうしても早く処分したいゴミは受け入れる。
14:15	医療・福祉	集団検診・施設健診の日程変更	今週予定されている集団検診・施設健診・乳幼児健診などの全ての健診は日程を変更する。後日改めて日程をお知らせする。
15:54	教育	小中高校、保育園、児童クラブの休校・休園について	市内全ての小学校・中学校・高等学校および全ての市立保育園、私立保育園、私立幼稚園、児童クラブは、17日は休校・休園、それ以降は改めて連絡。
15:57	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
16:13	教育	大学の休校について	新潟産業大学及び新潟工科大学は17日～20日まで休校
16:19	災害注意喚起(電気、ガス)	危険な電線や電柱、ガス漏れに注意	地震により垂れ下がった電線や機器がずれて危険な電柱には近づかないように。また、ガス漏れが心配されるので、ガス器具は使用しないように。
16:30	行事・催し物	ぎおん柏崎まつりの中止	ぎおん柏崎まつりの中止
16:30	教育	市内小中高校および保育園・幼稚園の休校・休園情報	市内小中高校は20日まで休校、その後は改めて連絡。保育園・幼稚園・児童クラブは18日まで休園、その後は改めて連絡。
16:47	トイレ	在宅用仮設トイレについて	明日から自宅にいる方の仮設トイレを設置する。
16:57	行事・催し物	ぎおん柏崎まつりの中止	ぎおん柏崎まつりの中止
17:00	電気・ガス・水道	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない	電気・ガス・水道の復旧見込みは立っていない。家屋倒壊心配ある場合は避難するように。
17:06	防犯	窃盗犯罪発生の恐れあり	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。(柏崎警察署より)
17:45	交通	バス運行情報	バス運行情報
18:00	ごみ	ゴミの収集予定	火・木・土に燃やすゴミを収集するが、できるだけ減らして欲しい。当分の間粗大ゴミ・燃やさないゴミ・資源物の収集は行わない。ただし18日13:00～17:00小松エスト跡地でどうしても早く処分したいゴミは受け入れる。
18:04	点検の呼びかけ	停電の防災無線への影響	停電が長引いているため防災無線へ影響がある。電池を確認してほしい。
18:07	入浴	入浴情報	入浴情報
18:30	避難所	小学校グラウンドに大型テント設営	小学校グラウンドに大型テント設営
18:33	応急危険度判定	今日から応急危険度判定	今日から応急危険度判定のため判定員が建物に立ち入ることになるのでご協力いただきたい。
18:50	入浴	入浴情報	入浴情報
18:55	医療・福祉	刈羽郡総合病院の診療予定	刈羽郡総合病院は、明日18日から通常通りの診療を行う。
19:00	避難所	小学校グラウンドに大型テント設営	小学校グラウンドに大型テント設営
19:03	入浴	入浴情報	入浴情報
19:10	避難所	小学校グラウンドに大型テント設営	小学校グラウンドに大型テント設営
19:25	物資提供	食料・水の配送	避難所へ食料・水を順次運搬している。
19:40	応急危険度判定	今日から応急危険度判定	今日から応急危険度判定のため判定員が建物に立ち入ることになるのでご協力いただきたい。
20:00	ごみ	ゴミの収集予定	火・木・土に燃やすゴミを収集するが、できるだけ減らして欲しい。当分の間粗大ゴミ・燃やさないゴミ・資源物の収集は行わない。ただし18日13:00～17:00小松エスト跡地でどうしても早く処分したいゴミは受け入れる。
20:15	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	道路状況が非常に悪く、陥没等が至る所にあるので通行に注意してほしい。
20:17	教育	市内小中高校および保育園・幼稚園の休校・休園情報	市内小中高校は20日まで休校、その後は改めて連絡。保育園・幼稚園・児童クラブは18日まで休園、その後は改めて連絡。
20:40	ごみ	ゴミの収集予定	明日の燃やすゴミ収集は通常通りだが、粗大ゴミ収集は行わない。
20:50	物資提供	食料・水の配送	避難所へ食料・水を順次運搬している。
21:55	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
22:00	医療・福祉	エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
不明	交通	主な道路の通行止め箇所	主な道路の通行止め箇所
不明	給水・物資提供	給水車が出勤中	給水車が市内のコミセン・主な小中学校に出勤している。

※時刻欄に「不明」とあるものは、原稿は残っているが時刻が不明のもの。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月17日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
1:14	電気	地震による停電の状況について (東北電力: 22時現在)	地震による停電の状況について (東北電力: 22時現在)
1:42	ボランティア	ボランティアの受け入れについて	社会福祉協議会 (電話番号22-1411) で対応しています。
7:15	医療・福祉	エコノミー症候群に注意してください	やむを得ず車の中で過ごされる方は、エコノミー症候群に気をつけてください。
7:20	ごみ	7月17日のごみの収集について	7月17日のごみの収集について
7:23	住宅・建物復旧	7月17日から建物の応急危険度判定を行います。	7月17日から建物の応急危険度判定を行います。
7:33	上水道	給水車の出動について	給水車が出動しております。
7:39	医療・福祉	人工透析をされる予定の方へ	7月17日、刈羽郡総合病院で人工透析をされる予定の方に連絡します。
7:39	医療・福祉	人工透析をされる予定の方へ	7月17日、刈羽郡総合病院で人工透析をされる予定の方に連絡します。
7:47	保育園・幼稚園・小中学校・大学	柏崎市内の小・中・高等学校及び保育園等の休校・休園について	柏崎市内の小・中・高等学校及び保育園等の休校・休園のお知らせです
7:50	公共施設	公共施設の休館について	下記の公共施設は、当分の間、休館します。
7:58	医療・福祉	本日 (7月17日) の刈羽郡総合病院の診療について	救急患者のみ対応します。
8:06	道路	主要道路の通行止め箇所について	国道と高速道路の状況について
8:26	トイレ	仮設トイレの設置場所について	仮設トイレの設置場所についてお知らせします。
12:08	被害状況	被災状況のまとめ (7月17日8時現在)	7月17日8時現在の被災状況
12:13	行事・催し物	県展の打ち切りについて	県展柏崎展は、震災のため打ち切りとなりました。
12:23	ごみ	ゴミの収集について	燃やすゴミの収集のみ行います。
12:32	情報提供	中国語による情報提供を行っています。	NHK国際放送局で情報提供を行っています。
16:35	保育園・幼稚園・小中学校・大学	明日 (7月18日) の学校・保育園の状況について	明日 (7月18日) は休校・休園となります
16:41	行事・催し物	ざおん柏崎まつりの中止について	今年のざおん柏崎まつりは、全ての行事を中止します。
16:47	物資提供	個人からの物資の取扱いについて	個人からの救援物資については、お断り申し上げております
16:52	保育園・幼稚園・小中学校・大学	柏崎高校の今後の予定について	7月18日から24日までは、臨時休校とします。
17:14	トイレ	仮設トイレについて、各町内会長にお知らせします。	明日から自宅にいる方のための仮設トイレを設置します。
17:25	道路	北陸自動車道は、米山～柿崎IC間が通行止です。	先ほどのお知らせを訂正いたします。
18:51	点検の呼びかけ	停電の防災無線への影響	停電が長引いているため、防災行政無線の個別受信機の電池が切れる可能性があります。放送がよく入らなくなったら、個別受信機の電池を確認し、新しい電池と交換してください。
19:16	医療・福祉	刈羽郡総合病院の診療について	刈羽郡総合病院は明日18日から通常どおり診療を行います。
19:16	避難所	柏崎小学校の大型テント避難所について	柏崎小学校のグラウンドに大型テントを設置しました

7月18日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
7:06 防犯		窃盗犯罪発生への恐れあり	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。(柏崎警察署より)
7:08 点検の呼びかけ		停電の防災無線への影響	停電が長引いているため防災無線へ影響がある。電池を確認してほしい。
7:13 防犯		窃盗犯罪発生への恐れあり	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。(柏崎警察署より)
7:37 医療・福祉		刈羽郡総合病院の診療予定	刈羽郡総合病院は、今日は救急患者のみ対応、通常診療は休み。
8:30 被害状況調査		今日も家屋の被害状況調査あり	今日も家屋の被害状況調査を行う。外見からの調査なので立会いは不要。
9:00 電気		東北電力より電気の復旧工事について	東北電力では今日中の電気の復旧を目的に工事を進めている。安全を確認しながら家屋ごとに電気を送るので、広報車が近くにきたら自宅付近で待機してほしい。
9:11 電気		停電等の問い合わせ先	東北電力より、停電等の問い合わせ先
9:30 給水・物資提供		給水車の出動	給水車が市内のコミセンと主な小中学校に出動している。また、ペットボトルの飲料水も各避難所に順次配布している。
9:46 医療・福祉		元気館休館	元気館は臨時避難所につきしばらくの間休館
10:00 入浴		入浴情報	入浴情報
10:30 防犯		悪質な業者に注意	災害に便乗して不当な代金を要求する悪質な業者が出ているので注意。(柏崎警察署より)
10:45 災害注意喚起(道路)		道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
11:00 電気		東北電力より電気の復旧工事について	東北電力では今日中の電気の復旧を目的に工事を進めている。安全を確認しながら家屋ごとに電気を送るので、広報車が近くにきたら自宅付近で待機してほしい。
11:00 入浴		入浴情報	入浴情報
12:00 行事・催し物		上越地区陸上競技会記録会の中止	上越地区陸上競技会記録会の中止
12:00 ごみ		粗大ゴミと燃やさないゴミの受け入れ	今日午後13:00~17:00、小松エスト跡地で粗大ゴミと燃やさないゴミの受け入れを行う。
13:00 電気		東北電力より電気の復旧工事について	東北電力では今日中の電気の復旧を目的に工事を進めている。安全を確認しながら家屋ごとに電気を送るので、広報車が近くにきたら自宅付近で待機してほしい。
14:00 医療・福祉		保険証や健康手帳をなくした方へ	保険証や健康手帳が手元に無い場合は、名前・生年月日・事業所名(あるいは住所)を窓口で伝えて診療を受けて欲しい。
14:00 情報提供		広報かしわざき7月20日号の発行延期	広報かしわざき7月20日号の発行延期
14:30 上水道		水道の復旧状況	水道の復旧状況
14:30 ガス		ガスの復旧状況	ガスの復旧状況
15:00 電気		東北電力より電気の復旧工事について	東北電力では今日中の電気の復旧を目的に工事を進めている。安全を確認しながら家屋ごとに電気を送るので、広報車が近くにきたら自宅付近で待機してほしい。
15:00 行事・催し物		西山町でのイベント中止	西山町でのイベント中止
15:00 行事・催し物		上越地区陸上競技会記録会中止	上越地区陸上競技会記録会中止
15:00 入浴		入浴情報	入浴情報
15:59 災害注意喚起(道路)		道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
16:15 災害注意喚起(火事)		火の取り扱いに注意	市内大部分の地域で断水している。火の取り扱いに注意。
16:30 教育		保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について
17:00 ごみ		ゴミの収集予定	粗大ゴミと燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には緊急のもの以外は持ち込まないように。
18:00 医療・福祉		保険証や健康手帳をなくした方へ	保険証や健康手帳が手元に無い場合は、名前・生年月日・事業所名(あるいは住所)を窓口で伝えて診療を受けて欲しい。
18:00 医療・福祉		エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
18:10 給水・物資提供		給水車の出動	給水車が市内のコミセンと主な小中学校に出動している。また、ペットボトルの飲料水も各避難所に順次配布している。
19:00 電気		東北電力より電気の復旧工事について	東北電力では今日中の電気の復旧を目的に工事を進めている。安全を確認しながら家屋ごとに電気を送るので、広報車が近くにきたら自宅付近で待機してほしい。
19:00 教育		保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について
19:00 ごみ		ゴミの収集予定	粗大ゴミと燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には緊急のもの以外は持ち込まないように。
19:45 入浴		入浴情報	入浴情報
19:45 医療・福祉		歯の急患治療について	明日19日から栄町の健康管理センターで歯の急患診療所を開設する。
20:30 市長メッセージ		市長メッセージ	市長メッセージ
20:40 防犯		窃盗犯罪発生への恐れあり	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。(柏崎警察署より)
21:00 電気		東北電力より停電のお知らせ	東北電力より、緊急作業のため停電のお知らせ
22:00 ガス・上下水道		ガス、水道、下水道の復旧作業状況	ガス、水道、下水道の復旧作業状況
不明 上水道		水道の復旧状況	水道の復旧状況
不明 ガス		ガスの復旧状況	ガスの復旧状況
不明 ガス・上水道・下水道		ガス・上下水道の復旧状況	ガス・上下水道の復旧状況

※時刻欄に「不明」とあるものは、原稿に残っているが時刻が不明のもの。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月18日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
8:00	情報提供	防災メールの配信をしばらく 防災メール配信をしばらく停止しますの間の停止します。	
9:18	電気	東北電力の広報車が近くに来ましたら自宅付近で待機してください	本日18日中の停電解消を目指しています。
9:25	電気	停電のお問い合わせは0120-175-366へ	東北電力からのお知らせ 停電等のお問い合わせは、0120-175-366（フリーダイヤル）までお願いします。
9:52	物資提供	給水車がコミセンと主な小中学校に出勤中	ペットボトルの飲料水も各避難所に順次配布しています
10:09	入浴	本日18日のしおかぜ荘の入浴時間について	女性は12時から16時まで、男性は18時から22時まで
10:44	情報提供	災害情報は携帯電話でも確認できます	http://emergency.city.kashiwazaki.niigata.jp/hp/index.html
10:59	入浴	しおかぜ荘入浴時間 正午からは乳幼児を優先させていただきます	
11:58	入浴	県立こども自然王国で無料で入浴施設開放	期間は7月31日まで（7月23日を除く） 10：30～17：00まで
12:03	公共施設	柏崎・夢の森公園は当分の間 休園（進入禁止）します。	7、8月に予定していた環境学校の個人向けプログラムも中止させていただきます
12:20	ごみ	18日13時から17時まで家庭からの「粗大ゴミ」「燃やさないゴミ」受け入れれます	どうしても自宅敷地内に置いておけないゴミのみ受け入れれます
12:52	物資提供	救援物資受入先「みなとまち 海浜公園内夕日のドーム」に変更	7月18日午前11時30分から変更
13:09	情報提供	K I S N E T のホームページから市の災害情報が確認いただけます	http://www.kisnet.or.jp/city/ もご利用ください。
14:18	情報提供	広報かしわざき7月20日号の発行は延期します	7月20日号の広報は発行延期します。
14:41	ガス	本日18日からガスメーター コックを閉める作業を行っています	ガスの復旧作業状況について
15:02	行事・催し物	西山町管内の行事中止について	ゆうぎサマーフェスタ、石地花火大会、草生水まつり中止
15:08	行事・催し物	スポーツ大会等中止のお知らせ	中学陸上記録会、小学校親善水泳大会中止です
15:13	入浴	市内のホテル・旅館を含めた入浴施設は利用できません	高柳町のこども自然王国のみ無料利用できます
15:35	情報提供	新潟県のホームページもご利用ください	http://bosai.pref.niigata.jp/bosaiportal/0716jishin/ です
15:55	道路	道路通行規制及び迂回情報を確認できます	http://www.hrr.mlit.go.jp/road/chuetsuoki/ からご覧ください
17:52	保育園・幼稚園・小中高 校・大学	明日19日から高柳、門出保育園では通常保育を再開します	一部の保育園でも明日19日から時間を限って保育いたします
18:56	保育園・幼稚園・小中高 校・大学	私立幼稚園、放課後児童クラブは今週一杯お休みです	
19:20	義援金	義援金を受け付けております	北越銀行及び郵便局への振込・振替、直接ご持参いただいても結構です
21:36	電気	明日19日早朝、西山町地区の一部で緊急作業停電をさせていただきます	黒部、坂田、池浦、鬼王、礼拝地区の各一部で4時から6時まで
21:59	上水道	中浜、番神、東の輪、鯨波、常盤台、三島町、米山台に給水開始	現在、関町、宮場町、元城町、横山、半田、岩上、田中、柳橋地域を調査中
22:01	ガス・下水道	ガスは、20日までの予定で、全戸の閉栓作業を行っています	努力しておりますが、復旧の見込みは今のところ立っておりません。

7月19日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
3:22 災害情報		柏崎市山室地内での火災	柏崎市山室地内での火災発生。現在消防隊が消火活動中。
7:01 災害情報		柏崎市山室地内での火災鎮火	柏崎市山室地内での発生した火災は、5:55に鎮火。
7:00 点検の呼びかけ		停電の防災無線への影響	停電が長引いているため防災無線へ影響がある。電池を確認してほしい。
7:00 防犯		窃盗犯罪発生への恐れあり	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。(柏崎警察署より)
8:00 災害注意喚起(道路)		道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
8:00 教育		講座、教室の延期	市民プラザ、総合体育館、アクアパークで7月開催予定の全ての講座と教室は延期。
8:00 給水・物資提供		給水車の出動および食糧の配布	給水車が市内のコミセン、市民プラザと小中学校に出動している。また、食糧も各避難所で配布している。水が必要な場合は入れ物を持参するように。
8:30 ごみ		ゴミの収集予定	粗大ゴミや燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には緊急のもの以外は持ち込まないように。
9:00 医療・福祉		保険証や健康手帳をなくした方へ	保険証や健康手帳が手元に無い場合は、名前・生年月日・事業所名(あるいは住所)を窓口で伝えて診療を受けて欲しい。
9:00 医療・福祉		歯の急患治療について	今日19日から栄町の健康管理センターで歯の急患診療所を開設する。
10:00 公共施設		プールの開放中止	港公園プールは地震により施設の一部が壊れたので、一般開放を中止する。
11:00 入浴		入浴	入浴
11:00 交通		バス運行情報	バス運行情報
11:30 入浴		入浴	入浴
12:00 給水・物資提供		給水車の出動および食糧の配布	給水車が市内のコミセン、市民プラザと小中学校に出動している。また、食糧も各避難所で配布している。水が必要な場合は入れ物を持参するように。
12:00 ごみ		ゴミの収集予定	粗大ゴミや燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には緊急のもの以外は持ち込まないように。
12:00 防犯		悪質な業者に注意	災害に便乗して不当な代金を要求する悪質な業者が出ているので注意。(柏崎警察署より)
13:25 原子力		原子力発電所の状況	市では、原子力発電所の安全を確保するため、危険物施設の使用停止を命令し、安全が確保されるまでは運転を再開しないよう要求した。
14:00 入浴		入浴	入浴
14:30 交通		バス運行情報	バス運行情報
15:00 公共施設		プールの開放中止	港公園プールは地震により施設の一部が壊れたので、一般開放を中止する。
16:00 災害注意喚起(道路)		道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
16:00 入浴		入浴	入浴
16:00 災害注意喚起(火事)		火の取り扱いに注意	市内大部分の地域で断水している。火の取り扱いに注意。
16:15 教育		保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について
17:00 災害注意喚起(危険地域)		危険地域への立ち入り禁止	中央海岸多目的広場から鯖石川河口までの区域の土塁から海までの区間は、大変危険なので立ち入らないように。潮風公園内遊歩道もいたるところに亀裂があり、通行に注意。
18:00 医療・福祉		保険証や健康手帳をなくした方へ	保険証や健康手帳が手元に無い場合は、名前・生年月日・事業所名(あるいは住所)を窓口で伝えて診療を受けて欲しい。
18:00 給水・物資提供		給水車の出動および食糧の配布	給水車が市内のコミセン、市民プラザと小中学校に出動している。また、食糧も各避難所で配布している。水が必要な場合は入れ物を持参するように。
18:00 入浴		入浴	入浴
18:00 医療・福祉		エコノミークラス症候群に注意	エコノミークラス症候群に注意
18:45 交通		鉄道のバス代替輸送について	鉄道のバス代替輸送について
19:00 ごみ		ゴミの収集予定	粗大ゴミや燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には緊急のもの以外は持ち込まないように。
19:00 原子力		原子力発電所の状況	市では、原子力発電所の安全を確保するため、危険物施設の使用停止を命令し、安全が確保されるまでは運転を再開しないよう要求した。
19:00 下水道		下水道復旧に伴う節水のお願	下水道復旧に伴う節水のお願
19:00 医療・福祉		各種健診の延期	7月末までに実施予定だった基本健康診査、総合健診、各種がん検診、母子健診、予防接種、健康教育等をすべて延期する。
19:00 医療・福祉		障害をお持ちの方の相談窓口開設	障害をお持ちの方の相談窓口開設
19:00 上水道		水道の復旧作業状況について	水道の復旧作業状況について
19:30 防犯		窃盗犯罪発生への恐れあり、不審者情報	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。また、不審者の情報も寄せられている(柏崎警察署より)
19:54 教育		保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について
20:00 入浴		入浴情報	入浴情報
20:45 市長メッセージ		市長メッセージ	市長メッセージ
不明	教育	保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について

※時刻欄に「不明」とあるものは、原稿は残っているが時刻が不明のもの。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月19日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
7:28	点検の呼びかけ	防災行政無線個別受信機の電池を確認してください	電池が切れている可能性があります。交換してください。
7:30	防犯	貴重品の保管に充分注意してください	空き巣や置き引き、車上狙い等の窃盗犯罪が発生する恐れあり
8:04	避難所	19日7:00現在の避難所の状況	68箇所5,067人が避難されております。
9:03	医療・福祉	今日19日から栄町の健康管理センターで歯の急患診療所を開設します	診療時間は、10:00から16:00までです
10:17	公共施設	港公園プールの開放は中止します	明日20日から予定していた一般開放は、当分の間、中止します。
11:02	情報提供	「FMピッカラ」の災害放送が、インターネットで全国視聴いただけます	http://www.kisnet.or.jp/pikkara/ にアクセスください
11:39	入浴	本日19日の臨時入浴施設開設時間について(その1)	西山町南部コミセン 女性10:30~14:00及び17:00から19:30、男性19:30~21:30・・・
11:52	入浴	本日19日の臨時入浴施設開設時間について(その2)	西山町いきいき館 女性13:00~16:00、男性17:00~20:00・・・
12:55	防犯	悪質業者にご注意ください	災害に便乗して不当な代金を要求する悪質業者が出ています
13:19	行事・催し物	7・8月に計画していた教育センター・青少年センターの事業は全て中止	7・8月に計画していた教育センター・青少年センターの事業は全て中止いたします
13:30	原子力	現在、柏崎刈羽原子力発電所は、全号機停止しています	市では消防法に基づき発電所内の危険物施設の使用停止命令をしました。
14:00	相談窓口	子どもたちのための緊急「心の相談室」開設中	柏崎小学校 保健室で 7月18日から当分の間 10時から17時まで
14:21	入浴	本日19日の臨時入浴施設開設時間について(その3)	柏崎小学校 子供と高齢者の男性14:00~16:00 女性16:30~19:30、男性20:00~21:30 障害者と家族の方
14:39	原子力	東京電力への対応状況について	使用停止命令等を行いました。
14:41	入札業務	制限付一般競争入札の中止について(7月12日公告分・その1)	下記入札を中止します。
14:47	入札業務	制限付一般競争入札の中止について(7月12日公告分・その2)	下記入札を中止します。
14:54	バス	高速バス柏崎-新潟線の運行再開について	今日19日15:00から運行再開します。
15:13	公共施設	港公園プールの開放は中止します	20日から予定していた一般開放は、当分の間、中止します。
16:11	義援金	義援金受付口座を追加しました	直接現金をお持ちの場合は、市役所1階の会計課までお越しください。
16:18	入浴	本日19日の臨時入浴施設開設時間について(その4)	西山町二田小学校 男性女性共17:00~21:30・・・
17:52	入浴	本日19日の臨時入浴施設開設時間について(その5)	比角小学校 男性女性共19:00~22:00・・・
18:28	医療・福祉	保険証・健康手帳等を地震で紛失された方へ	医療機関でお名前・生年月日等を伝えてください
18:48	医療・福祉	エコノミー症候群にお気をつけください	やむを得ず車の中で過ごされる方へ
18:59	鉄道	20日から信越本線柏崎-直江津間のバスによる代替輸送を行います	JR東日本では20日から信越本線柏崎-直江津間のバスによる代替輸送を行います
19:07	入浴	温泉日帰り無料サービス(社)全国旅行業協会からのお知らせ	(社)全国旅行業協会から「温泉日帰りの無料サービス」を実施することになりました。
19:23	下水道	節水にご協力願います	浄化センターの処理が間に合わなくなる恐れもあります。
19:29	医療・福祉	検診の延期について	7月末までに実施予定の全ての検診は延期します。
19:33	相談窓口	障がいをお持ちの方の相談窓口の開設について	茨目の茨目地域生活支援センター内に専門窓口開設
19:38	上水道	水道の復旧状況	水道水が濁った状態になります
19:39	保育園・幼稚園・小中学校・大学	20日から上条、明照、ふたば保育園を除く全公立・私立保育園で保育再開	既に入園されているお子様対象、現在通園している保育園で時間を限って保育します。ご希望の方は登園させていただきます。
21:16	市長メッセージ	市民の皆様へ会田市長がお伝えします	地震から4日目を迎えて、市民の皆様には、連日の復旧作業や慣れない避難生活などのお疲れが出ていることと思います。・・・

7月20日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
7:30	入浴	入浴情報	入浴情報
7:30	防犯	窃盗犯罪発生への恐れあり、不審者情報	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。また、不審者の情報も寄せられている（柏崎警察署より）
7:45	災害注意喚起(危険地域)	危険地域への立ち入り禁止	中央海岸多目的広場から鯖石川河口までの区域の土塁から海までの区間は、大変危険なので立ち入らないように。潮風公園内遊歩道もいたるところに亀裂があり、通行に注意。
8:00	入浴	入浴情報	入浴情報
8:00	給水・物資提供	給水車の出勤および食糧の配布	給水車が市内のコミセン、市民プラザと小中学校に出勤している。また、食糧も各避難所で配布している。水が必要な場合は入れ物を持参するように。
8:00	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
8:00	教育	講座、教室の延期	市民プラザ、総合体育館、アクアパークで7月開催予定の全ての講座と教室は延期。
8:00	交通	車両による柏崎市街地内乗り入れについて	渋滞が発生しているため、緊急やむを得ない場合をのぞき、車両による柏崎市街地内への乗り入れは控えて欲しい。
8:30	被害状況調査	被害認定のための写真撮影、書類保管のお願い	罹災証明書発行のための被害状況調査を行っている。調査前に工事を行う場合は写真を撮影しておくこと。また、業者の見積書や領収書なども保管すること。
8:30	ごみ	ゴミの収集予定	粗大ゴミや燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には持ち込まないように。周辺道路が大渋滞して現地が混乱している。
9:00	交通	バス運行状況	バス運行状況
9:00	原子力	原子力発電所の状況	原子力発電所周辺のモニタリング調査の結果、空気中からは放射性ヨウ素は検出されなかった。
10:15	入浴	入浴	入浴
10:30	災害注意喚起(土砂崩れ)	土砂崩れに注意	地盤が緩み土砂崩れが発生しやすくなっている。雨模様の天気なので、十分に注意してほしい。
11:00	入浴	入浴	入浴
12:00	給水・物資提供	給水車の出勤および食糧の配布	給水車が市内のコミセン、市民プラザと小中学校に出勤している。また、食糧も各避難所で配布している。水が必要な場合は入れ物を持参するように。
12:00	交通	車両による柏崎市街地内乗り入れについて	渋滞が発生しているため、緊急やむを得ない場合をのぞき、車両による柏崎市街地内への乗り入れは控えて欲しい。
12:00	ごみ	ゴミの収集予定	燃やすゴミは火・木・土、野焼きは絶対にやめて欲しい。粗大ゴミや燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には持ち込まないように。
13:00	入浴	入浴	入浴
13:15	交通	バス運行情報	バス運行情報
13:30	下水道	下水道復旧に伴う節水のお願い	下水道復旧に伴う節水のお願い
16:00	災害注意喚起(道路)	道路通行の注意喚起	市内道路は亀裂や破損が多く発生しているので通行に注意してほしい。
16:00	入浴	入浴	入浴
16:00	災害注意喚起(火事)	火の取り扱いに注意	市内の多くの地域で断水している。火の取り扱いに注意。
16:15	教育	小中学校の最終授業日について	市内全小中学校は来週23日を夏休み前最後の授業日とする。
17:00	教育	保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について
17:00	災害注意喚起(土砂崩れ)	土砂崩れに注意	地盤が緩み土砂崩れが発生しやすくなっている。雨模様の天気なので、十分に注意してほしい。
18:00	給水・物資提供	給水車の出勤および食糧の配布	給水車が市内のコミセン、市民プラザと小中学校に出勤している。また、食糧も各避難所で配布している。水が必要な場合は入れ物を持参するように。
18:48	教育	保育園の開園・保育時間について	保育園の開園・保育時間について
19:00	医療・福祉	各種健診の延期	7月末までに実施予定だった基本健康診査、総合健診、各種がん検診、母子健診、予防接種、健康教育等をすべて延期する。
19:00	交通	車両による柏崎市街地内乗り入れについて	渋滞が発生しているため、緊急やむを得ない場合をのぞき、車両による柏崎市街地内への乗り入れは控えて欲しい。
19:00	ごみ	ゴミの収集予定	燃やすゴミは火・木・土、野焼きは絶対にやめて欲しい。粗大ゴミや燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集するので、小松エスト跡地には持ち込まないように。
19:00	教育	小中学校の最終授業日について	市内全小中学校は来週23日を夏休み前最後の授業日とする。また、高校等については各学校に問い合わせを欲しい。
19:00	交通	21日のバスの運休について	21日のバスの運休について
19:00	医療・福祉	障がい者への居宅サービスについて	障がい者居宅サービスは市内各事業所で再開している。
19:00	交通	鉄道のバス代替輸送について	鉄道のバス代替輸送について
19:00	災害注意喚起(土砂崩れ)	土砂崩れに注意	地盤が緩み土砂崩れが発生しやすくなっている。雨模様の天気なので、十分に注意してほしい。
19:00	情報提供	広報かしわざき7月20日号と8月5日号の発行中止	広報かしわざき7月20日号と8月5日号の発行中止
19:30	防犯	窃盗犯罪発生への恐れあり、不審者情報	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。また、不審者の情報も寄せられている（柏崎警察署より）

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月20日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
8:04	公共施設／道路	中央海岸多目的広場から鯖石川河口までの海岸部立ち入り禁止	大変危険ですので立ち入らないでください
8:09	入浴	20日臨時入浴施設開設状況(その1)	北条北小学校の開設時間
8:31	ボランティア	ボランティア受入れのためのシャトルバス運行について	ボランティアの皆さん、シャトルバスの利用にご協力ください
8:35	物資提供	水、食料とも避難所で配布しています	不足があれば順次補給します
8:37	行事・催し物	市民プラザ等での講座・教室開催延期のお知らせ	市民プラザ、総合体育館、アクアパークで7月中に開催予定の全講座・教室は開催延期
8:45	ごみ	小松エラスト跡地にはゴミは持ち込まないようにしてください	粗大ゴミ、燃やさないゴミは、後日、市が町内ごとに収集します
8:51	罹災証明	罹災証明発行のための建物被害状況調査について	罹災証明発行のための建物被害状況調査を行っています
8:54	物資提供	被災オスメイトに対するトーマ装具無料提供実施	提供期間は約1か月間程度
9:05	要援護者対策	要援護者の旅館等への宿泊受入れについて	仮設住宅整備が完了するまでの当面の間
9:21	原子力	原子力発電所の状況について	空気中から放射性ヨウ素は検出されていません。
9:26	バス	20日市内路線バスの運行について	市街地循環バス「かざぐるま」は運休となっています。
9:33	バス	高速バスは運行しています	柏崎-長岡線のバスは運休しています
10:30	災害警戒の呼びかけ	土砂崩れが発生しやくなっています	特に、斜面が崩れやすくなっています。
10:43	上水道	19日21:00現在の給水戸数4,909	29,940戸が未だ断水中です
12:05	上水道	水道の復旧対応について	平成19年新潟県中越沖地震に対する水道の復旧対応について
13:08	入浴	20日臨時入浴施設開設状況(その3)	柏崎小 子どもと高齢者の男性14:00~16:00、子どもと女性16:30~19:00、子どもと男性20:00~21:30、障がい者とその家族22:00~・・・
13:30	バス	柏崎・長岡線のバスの運行を一部再開します	本日20日午後から、柏崎・長岡線のバスの運行を一部再開します・・・
13:40	下水道	公共下水道・農業集落排水管路の被害状況調査について	公共下水道・農業集落排水管路の被害状況調査をしています。相当の被害が予測されます
14:54	行事・催し物	さざなみ学園サマーフェスティバル中止のお知らせ	さざなみ学園サマーフェスティバルは中止となりました
15:55	入浴	20日臨時入浴施設開設状況(その5)	西山町中川コミセン 女性17:00~19:30、男性19:30~22:00・・・
15:57	道路	道路の通行に十分注意してください	特にマンホール付近を通られる際には十分に注意してください
15:58	災害警戒の呼びかけ	火事を出さないように火の取扱いに十分注意してください	市内の大部分の地域で断水しているため消火に支障があります
18:17	災害警戒の呼びかけ	土砂崩れが発生しやくなっています	特に、斜面が崩れやすくなっています。
18:35	保育園・幼稚園・小中学校・大学	県立高等学校等の今後の予定について	県立高等学校・養護学校等の今後の予定は下記のとおりです
18:50	保育園・幼稚園・小中学校・大学	21日上条、明照、ふたば保育園を除く全公立・私立保育園で保育を行います	明日21日も上条保育園、明照保育園、ふたば保育園を除く全公立・私立保育園で時間を限って保育をいたしますので、ご希望の方は登園させてください。
18:54	保育園・幼稚園・小中学校・大学	7月23日(月)、全小中学校では夏休み前の最後の授業日とします	登下校の時間や方法については、各学校から連絡いたします。
19:09	バス	21日柏崎・長岡線のバス運行時刻について	西山経由の急行の経路で、西山IC~長岡ICまでは高速道路利用
19:16	医療・福祉	障がい者への居宅サービスについて	市内の各事業所でサービスを再開しています
19:21	鉄道	信越本線柏崎・長岡間のバスによる代替輸送について	明日21日から開始予定です
19:30	情報提供	広報かしわざき7月20日号と8月5日号は発行中止いたします	配布は行われません
19:43	災害警戒の呼びかけ	土砂崩れが発生しやすくなっています	特に、斜面が崩れやすくなっています。
20:40	金融・税金	第四銀行柏崎支店の休日営業について	21日(土)、22日(日)10:00~15:00営業します

7月21日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
8:30	医療・福祉	助産師による赤ちゃん相談	健康管理センターにて助産師相談を行う。
8:30	交通	中心市街地にて渋滞発生中	車両による柏崎市街地内への乗り入れを極力控えて欲しい。
8:30	医療・福祉	助産師会による赤ちゃん沐浴サービス	助産師会が赤ちゃん沐浴サービスを行う。
8:30	災害注意喚起	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい。マンホール付近を通過する際には特に気をつけて欲しい。
8:30	防犯	窃盗犯発生への恐れあり、注意してほしい	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。また、不審者の情報も寄せられているので、注意。
8:30	ごみ	ゴミの処分について	燃やすゴミは火・木・土、野焼きはやめてほしい。粗大ゴミ・燃やさないゴミは後日収集する。
9:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
10:30	住宅・建物復旧	ブルーシート無償提供、設置	被害を受けた家屋にブルーシート無償提供、必要な箇所に設置する。市役所建設住宅課へ。
11:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
12:00	交通	中心市街地にて渋滞発生中	車両による柏崎市街地内への乗り入れを極力控えて欲しい。
12:00	ごみ	ゴミの処分について	燃やすゴミは火・木・土、野焼きはやめてほしい。粗大ゴミ・燃やさないゴミは後日収集する。
12:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
13:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
13:00	交通	車両移動の要請	西本町三丁目の車両、災害復旧工事の妨げとなっているので、大至急移動してほしい。
14:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
15:00	上下水道	水道の復旧作業に関するお願い	水道の復旧作業に関して、漏水調査のための水量が確保できないので、節水に協力してほしい。
15:00	被害状況調査	被害認定のための写真撮影、書類保管のお願い	罹災証明書発行のための被害状況調査を行っている。調査前に工事を行う場合は写真を撮影しておくこと。また、業者の見積書や領収書なども保管すること。
15:45	交通	車両移動の要請	中通コミセン駐車場の車両、自衛隊仮設風呂を設置するので、大至急移動してほしい。
16:00	災害注意喚起	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい。マンホール付近を通過する際には特に気をつけて欲しい。
16:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
18:00	教育	保育園の保育時間、給食について	保育園の保育時間、給食について
19:00	医療・福祉	各種健診の延期	7月末までに実施予定だった基本健康診査、総合健診、各種がん検診、母子健診、予防接種、健康教育等をすべて延期する。
19:00	交通	中心市街地にて渋滞発生中	車両による柏崎市街地内への乗り入れを極力控えて欲しい。
19:00	ごみ	ゴミの処分について	燃やすゴミは火・木・土、野焼きはやめてほしい。粗大ゴミ・燃やさないゴミは後日収集する。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月21日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
8:59	道路	道路の通行に十分注意してく	特にマンホール付近を通られる際には十分に注意してください
9:01	防犯	空き巣や車上狙いにご注意を	柏崎警察署からのお知らせです。空き巣や車上狙いなどの窃盗犯罪が発生する恐れがあります。
9:40	入浴	21日臨時入浴施設開設状況	北鱒石小 女性9:00~12:30及び18:00~19:30、男性13:00~17:30及び19:30~21:00・・・
11:15	相談窓口	被災者のための無料電話法律相談を7/23から開設	7/23から 13時から16時まで 025-223-8255
12:01	ごみ	ゴミの野焼きや焼却処理は絶対におやめください	小松エスト跡地には、持ち込まないでください。
12:05	入浴	21日も海上自衛隊輸送艦「くにさき」がシャワーサービスを行います	現地では、海上自衛隊員の指示に従ってください
13:00	入浴	21日臨時入浴施設開設状況	柏崎小学校 男性14:00~15:30、20:00~22:00 女性16:00~19:30・・・
13:32	上水道	水道の復旧にあたり、安全確保のため、次のことについてご留意ください	敷地内で漏水がある場合にはガス水道局まで連絡ください
14:08	入浴	21日臨時入浴施設開設状況	比角小学校 男性、女性とも15:00~22:00・・・
15:05	上水道	節水にご協力ください	漏水調査の水量確保のため、夜間は水量の調整を行っています
15:50	入浴	21日臨時入浴施設開設状況	二田小学校 男性、女性とも17:00~21:30・・・
15:56	情報提供	21日17時からホームページによる災害情報発信を休止します	21日20時までの予定です 緊急の回線復旧作業を行います。
19:38	入浴	南魚沼市「石内ユングバルナス」で無料温泉開放中	お問い合わせ先 025-783-7888
19:45	入浴	重度身体障がい者に対する入浴サービス実施	7月23日から当分の間、女性9時から11時、男性13時から15時、元気館で
19:48	情報提供	ホームページによる情報提供再開しました	ご不便お掛けしました
21:49	避難所	21日20時現在の避難所の状況	62箇所2,654人が避難されております。

7月22日

防災行政無線

時間	カテゴリ	見出し	概要
8:25	保健・衛生	仮設トイレの消液液配布	仮設トイレの消液液配布
8:30	ごみ	ゴミの処分について	燃やすゴミは火・木・土、野焼きはやめてほしい。粗大ゴミ・燃やさないゴミは後日収集する。
8:35	防犯	窃盗犯罪発生の恐れあり、注意してほしい	空き巣や置き引き、車上狙いなどの窃盗犯罪に注意。また、不審者の情報も寄せられているので、注意。
8:35	災害注意喚起	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい。マンホール付近を通過する際には特に気をつけて欲しい。
9:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
9:30	医療・福祉	助産師会による赤ちゃん沐浴サービス	助産師会が赤ちゃん沐浴サービスを行う。
9:30	医療・福祉	助産師による赤ちゃん相談	健康管理センターにて助産師相談を行う。
9:30	住宅・建物復旧	ブルーシート無償提供、設置	被害を受けた家屋にブルーシート無償提供、必要な箇所に設置する。市役所建設住宅課へ。
10:00	ボランティア	災害ボランティアについて	ボランティアが家の片付け、荷物の運び出し、子どもの遊び相手、お年寄りの話し相手などを行う。
10:00	交通	中心市街地にて渋滞発生中	車両による柏崎市街地内への乗り入れを極力控えて欲しい。
11:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
11:00	ガス	ガス復旧作業について	一部地区にガスの供給を再開、他地区についても再開に向けて取り組んでいる。ガスは調査が終了するまで絶対に使用しないように。
12:00	ボランティア	災害ボランティアについて	ボランティアが家の片付け、荷物の運び出し、子どもの遊び相手、お年寄りの話し相手などを行う。
12:00	交通	中心市街地にて渋滞発生中	車両による柏崎市街地内への乗り入れを極力控えて欲しい。
12:00	教育	保育園の保育時間、給食について	保育園の保育時間、給食について
12:00	教育	放課後児童クラブについて	放課後児童クラブの時間、昼食について
12:00	避難所	避難所閉鎖	日吉小学校では避難所閉鎖したが、物資配給・給水・炊き出しは継続
12:05	ごみ	ゴミの処分について	燃やすゴミは火・木・土、野焼きはやめてほしい。粗大ゴミ・燃やさないゴミは後日収集する。
13:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
14:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
15:05	ボランティア	災害ボランティアについて	ボランティアが家の片付け、荷物の運び出し、子どもの遊び相手、お年寄りの話し相手などを行う。
15:00	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
15:00	被害状況調査	被害認定のための写真撮影、書類保管のお願い	罹災証明書発行のための被害状況調査を行っている。調査前に工事を行う場合は写真を撮影しておくこと。また、業者の見積書や領収書なども保管すること。
16:00	災害注意喚起	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい	亀裂や陥没があるため、道路通行に注意してほしい。マンホール付近を通過する際には特に気をつけて欲しい。
16:05	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
16:30	入浴	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について	自衛隊による臨時入浴施設の開設時間について
18:00	教育	保育園の保育時間、給食について	保育園の保育時間、給食について
18:00	教育	放課後児童クラブについて	放課後児童クラブの時間、昼食について
19:00	ごみ	ゴミの処分について	燃やすゴミは火・木・土、野焼きはやめてほしい。粗大ゴミ・燃やさないゴミは後日収集する。
19:30	交通	路線バスの運行再開	明日23日から一部の路線バスの運行を再開する。

柏崎市行政の災害対応と課題—長坂ほか

7月22日

市のホームページ

時間	見出し	タイトル	キャッチコピー
10:32	物資提供	町内に設置してある仮設トイレの消臭液を配布します	22日9時から18時までの間に、市役所3階環境政策課まで
10:40	入浴	22日臨時入浴施設開設状況(その1)	北鱒石小学校 女性9:00~12:30及び18:00~19:30, 男性13:00~17:30及び19:30~21:00・・・
10:58	入浴	22日赤ちゃんの沐浴サービスを助産師会が行います	時間は10:00~12:00まで、場所は常盤台のスポーツアカデミー
11:00	相談窓口	助産師による赤ちゃん相談の実施について	27日までの10:00~15:00 健康管理センターで助産師による赤ちゃん相談の実施
11:50	道路	柏崎市街地への車両乗り入れ	道路の違法駐車はしないでください、自粛のお願い
12:04	入浴	22日臨時入浴施設開設状況(その5)	柏崎小学校 女性15:00~19:30, 男性13:00~14:30及び20:30~22:00・・・
12:11	ガス	中鱒石地区、剣の一部にガスの供給を再開しました	他の地区においても調査を行っています。
12:24	入浴	東の輪海水浴場 若松屋さん	温水シャワー、トイレを午後11時まで無料でご利用くださいからのお知らせです
13:54	入浴	22日臨時入浴施設開設状況(その6)	刈羽村ラビカ 女性14:00~22:00, 男性11:00~22:00・・・
14:01	入浴	22日臨時入浴施設開設状況(その7)	松浜中学校 女性14:00~19:00, 男性19:30~22:30・・・
14:04	避難所	日吉小学校での物資の配給、給水、炊き出しは継続します。	避難所としては閉鎖しました。
14:35	入浴	22日臨時入浴施設開設状況(その8)	比角小学校 男性女性とも15:00~22:00・・・
14:40	入浴	22日臨時入浴施設開設状況(その9)	ワークプラザ 女性15:00~18:00, 男性18:00~21:30・・・
16:07	ボランティア	ボランティアがお手伝いします	作業希望日の前日19:00までにボランティアセンター(電話21-4122)まで連絡を
16:08	罹災証明	市の調査前に建物の撤去・修繕を行う方へ	被害状況の写真を撮影してから着手してください
16:47	入浴	臨時入浴施設開設	剣野小学校に一人用簡易風呂3機設置
16:52	住宅・建物復旧	ブルーシートを屋根にかけます	無償です。必要な方は市役所建築住宅課へ連絡を。
18:02	保育園・幼稚園・小中学校・大学	こみの、明照、はらまち、ふたばの各保育園の23日の保育予定	時間限定です。8:30~11:30, 13:00~16:00の各3時間。給食はありません。24日から1日保育を開始予定です。

要 旨

防災科学技術研究所は、新潟県柏崎市との共同研究協定に基づき、平成19年(2007年)新潟県中越沖地震に対する同市(基礎的自治体)の初動期における災害対応の包括的な検証を目的として、災害対策本部資料の収集、庁内各部課へのヒアリング、市職員アンケートを実施した。本章では、柏崎市行政の初動期の災害対応の実態とその課題を分析し報告する。

2007年中越沖地震の経験から、今後の行政の防災体制構築について、次のような課題が明らかになった。①原子力発電所立地地域での、マスコミ対応が難しい。②災害時において、民間事業者等の能力を最大限に生かすことが重要である。③市町村合併後の防災体制のあり方を考える必要がある。④自然災害・原子力災害の複合災害時への対応に課題が残されている。⑤自治体におけるBCPへの取り組みの積極的な推進が必要である。

キーワード：地震，初動期の災害対応，市町村，行政